



デジタル プロジェクタ

取扱説明書

ポータブル エンターテイメント シリーズ | GVI

V 2.01

著作権とおことわり

著作権

Copyright © 2020 by BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

その他本書に記載されているロゴ、製品、会社名は各社の登録商標であり、著作権は各社に帰属します。また、情報提供のみを目的として使用されています。

Android™ は Google LLC の商標です。

Bluetooth® マークとロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、BenQ Corporation はライセンスのもとにこれらのマークを使用しております。

iOS は米国およびその他の国におけるシスコ社の商標または登録商標であり、BenQ Corporation はライセンスのもと使用しております。

macOS® は米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。

USB-C™ は USB Implementers Forum の商標です。

おことわり

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。また、BenQ Corporation は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。この取扱説明書の製作は、最新かつ最も正確な情報を提供するように努めておりますが、内容は予告なく変更される場合があります。このマニュアルの最新版は、<http://www.benq.com> からご覧いただけます。

保証

BenQ は、本製品が正常に使用および保管される場合に限り、本製品の材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

保証を受ける際には、購入日の証明が必要となります。保証期間中に本製品に瑕疵があることが判明した場合、BenQ の全責任と、お客様に対する全面的な補償は、瑕疵のある部品の交換（工賃を含む）に限られます。保証サービスを受ける場合は、製品を購入した販売店に直ちに連絡してください。

重要：お客様が BenQ の文書による指示に従わずに操作を行った場合はこの保証は無効となります。特に本製品は環境湿度 10% から 90% の間、温度 0°C から 40°C の間、高度 2000 メートル以下の環境でご使用になり、ホコリが立ちやすい場所での使用はお止めください。この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。

詳細は、弊社ホームページ www.BenQ.com を参照してください。

ハイパーリンクおよびサードパーティのウェブサイトに関する宣言

BenQ は、この製品からリンクされていたとしても、サードパーティにより維持管理されるウェブサイトまたはその他のリソースのコンテンツについては一切責任を負いません。このようなウェブサイトや同様のリソースにリンクが張ってあったとしても、明示の有無に関わらず、BenQ が保証したり、代表したりするという意味ではありません。

この製品にあらかじめインストールされていたサードパーティのコンテンツまたはサービスは、現状のままで提供されます。BenQ は、サードパーティが提供するコンテンツやサービスについて、明示的にも示唆的にもいかなる保証も行いません。BenQ は、サードパーティが提供するコンテンツやサービスについて、正確性、効率性、最新性、合法性、完全性という意味においていかなる保障もいたしません。BenQ はいかなる状況においても、たとえサードパーティの怠慢であったとしても、彼らが提供するコンテンツやサービスについていかなる保証もいたしません。

サードパーティが提供するサービスは、一時的、または永久に終了される場合があります。BenQ は、サードパーティが提供するコンテンツやサービスが常に良好な状態であること、また発表したコンテンツやサービスの終了について、一切責任を負いません。

また、BenQ はサードパーティが運営するウェブサイトや同様のリソースでああなたが関わった取引については一切責任を負いません。

お問い合わせ、質問、苦情については、コンテンツまたはサービス提供者にお問い合わせください。

目次

著作権とおことわり	2
著作権	2
おことわり	2
保証	2
ハイパーリンクおよびサードパーティのウェブサイトに関する宣言	3
梱包内容	11
標準アクセサリ	11
はじめに	13
プロジェクトの特長	13
プロジェクト外観ビュー	15
正面および左面	15
背面および右面	16
底面	17
制御装置および機能	18
コントロールパネル	18
LED インジケータ	19
リモコン	21
リモコンのバッテリーを有効にする	22
リモコンのバッテリーの交換	23
リモコンの有効範囲	24
BenQ Smart Control （リモコンアプリ）	25
スマートフォンに BenQ Smart Control アプリをインストールする	25

BenQ Smart Control アプリを使う.....	26
インストール	29
設置場所の選択	29
最適な投写画像サイズを知る	31
投写サイズ.....	31
操作	33
プラグヘッドの取り付け	33
プラグヘッドの取り外し	33
バッテリーの充電	34
プロジェクタの起動	35
プロジェクタをシャットダウンする	39
投写画像の調整	40
投写角度の調整.....	40
画像の明瞭さの微調整.....	41
台形の補正.....	42
BenQ Launcher	43
BenQ Launcher ホームページ.....	43
BenQ Launcher ホームページをナビゲートする	44
アプリのショートカットの使い方.....	45
BenQ Launcher 設定メニューの使用法.....	46
文字入力.....	46
接続	48
無線接続	50
Wi-Fi ネットワークを介してプロジェクタを接続する.....	50
iOS および macOS® の無線投写	53

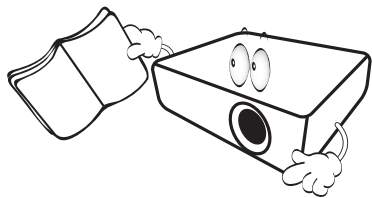
Android™ の無線投写	55
PC の無線投写	57
Wi-Fi ホットスポット	59
有線接続	63
DisplayPort で USB-C™ デバイスを接続する	63
USB-C™ フラッシュドライブを接続する	66
Media Player	67
Bluetooth 接続	75
Bluetooth スピーカーまたはヘッドフォンとのペアリング / 接続	75
プロジェクタを Bluetooth スピーカーとして使用する	77
設定メニューをナビゲートする	79
設定メニューについて	79
設定メニューの使用方法	80
ピクチャ	81
サウンド	83
Wi-Fi	84
Bluetooth	85
ホットスポット	86
インストール	87
設定	88
バージョン情報	89
その他の設定メニュー	90
最近使ったアプリ	90
スクリーン設定	91
すべてのアプリ	92
システムの更新	93

メンテナンス	95
プロジェクトのお手入れ.....	95
レンズのクリーニング	95
プロジェクトの保管	95
プロジェクトの移動	96
LED 寿命を延長する	96
トラブルシューティング	98
仕様	102
プロジェクトの仕様	102
外形寸法.....	104
タイミングチャート	105
対応するファイル形式.....	106

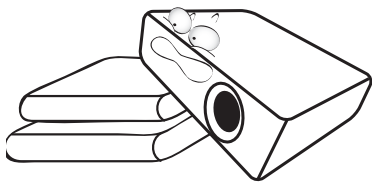
安全のためのご注意

お使いのプロジェクタは、情報テクノロジーデバイスの最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本装置を安全にご使用いただくために、本書および装置のマークに記載されている指示に従ってください。

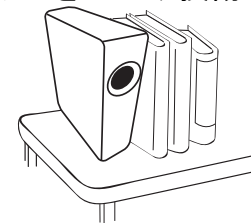
1. プロジェクタを操作する前に、本書をお読みください。本書はいつでも参考にできるように、手の届く場所に保管してください。



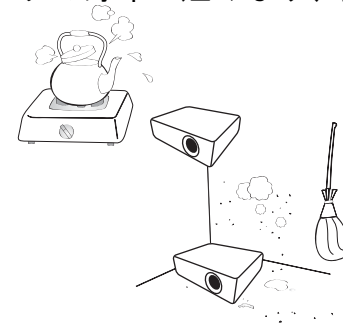
2. 使用時は必ず装置を水平な平面上に置いてください。
 - 本製品を不安定なカート、スタンド、テーブルに置かないでください。製品が落ちてケガをしたり、製品が故障したりする場合があります。
 - プロジェクタの近くに可燃物を置かないでください。
 - 左右の傾きが 10° 、または前後の傾きが 15° を超える状態で使用しないでください。



3. 装置を縦向きにしないでください。縦向きにすると、プロジェクタが倒れ、けがをしたり損傷する恐れがあります。

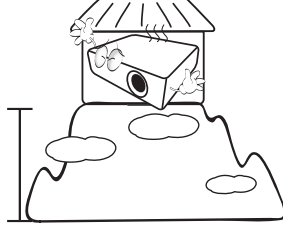


4. 次の場所に装置を置かないでください。
 - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50 cm 以上空けて、プロジェクタの周辺の風通しをよくしてください。
 - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
 - 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクタの寿命が短くなり、画像が暗くなります。



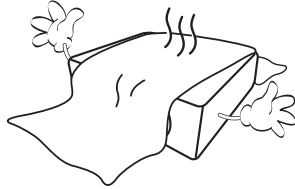
- 火災報知器に近い場所。
- 周辺温度が 40°C / 104°F を超える場所。

- 高度が 2000 メートル（6562 フィート）を超える場所。

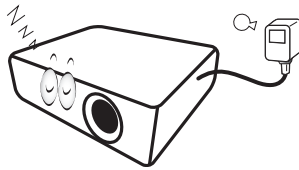


5. プロジェクタ動作中に通気孔をふさがないでください（スタンバイモードでも同様）。

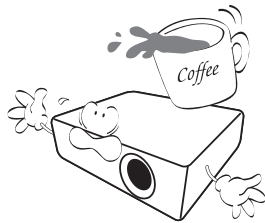
- プロジェクタの上に布などをかぶせないでください。
- プロジェクタをブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。



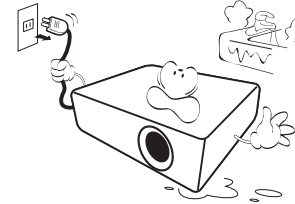
6. メインの電源電圧が ± 10 ボルト程度の変動がある場所では、プロジェクトを電源安定化装置、サージプロテクタ、あるいは UPS のいずれかに接続されるようお勧めします。



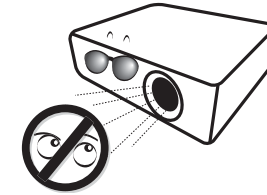
7. プロジェクタの上に乗ったり、物を置いたりしないでください。



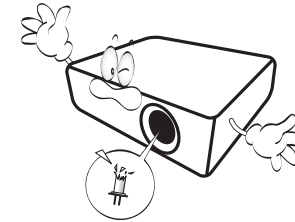
8. プロジェクタの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクト内部に液体がこぼれると、保証の対象外となります。プロジェクトが濡れてしまった場合は、コンセントを抜いて、BenQ に補修を依頼してください。



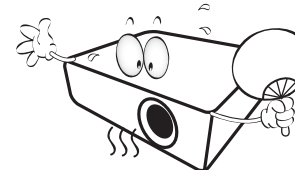
9. 動作中は、プロジェクトのレンズを覗き込まないでください。目を傷つける場合があります。



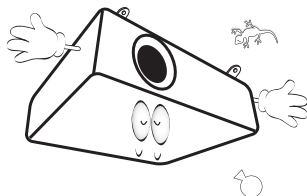
10. ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。



11. ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクトの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、プロジェクトを常温に戻してください。

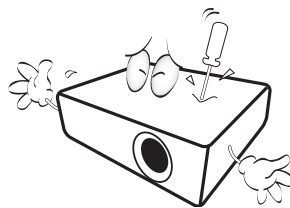


12. このプロジェクタを天井に取り付けて、イメージを反転投写することができます。



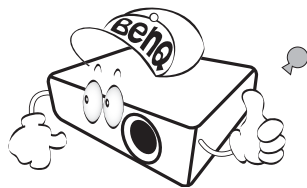
13. このプロジェクタのキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合があります。

いかなる状況においても、これ以外のカバーをご自身で取り外そうとしないでください。修理はサポートセンターにお問い合わせください。



! 将来搬送が必要な場合に備えて、元の梱包材料は捨てずに保管しておいてください。使用後にプロジェクタを梱包する必要がある場合は、搬送中に製品が破損しないように投写レンズを適切な位置に調整し、レンズをレンズクッションで保護し、さらにレンズクッションとプロジェクタクッションをぴったりとくっつけてください。

14. 点検修理については、サポートセンターにお問い合わせください。



結露

寒い場所から暑い場所へプロジェクタを移動させた後は、すぐには装置を操作しないでください。このように温度が急激に変化した状態では、重要な内部部品が結露する場合があります。プロジェクタの故障の原因となりますので、このような状態では最低でも2時間以上経過してから装置を使用してください。

揮発性液体の使用の禁止

殺虫剤やある種のクリーナーなどの揮発性液体を装置の近くで使用しないでください。ゴムやプラスチック製品などを長時間装置に触れたままの状態では放置しないでください。装置に痕が残ってしまいます。化学薬品を染み込ませた布で装置を拭く場合は、本書に記載される安全のための指示にしたがってください。

処理

本製品には人体や環境に有害な素材が使用されています。

- リード（はんだに使用されています）

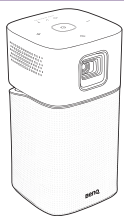
製品や使用済みランプを処理する方法については、各自治体の回収規則にしたがってください。

! 本書に記載される図や画像は参照用です。地域によって実際の内容は異なる場合があります。

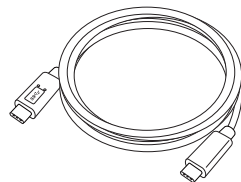
梱包内容

丁寧に開梱し、次に示すものがすべて揃っていることを確認してください。本製品を購入された地域によっては、同梱されていないアイテムもあります。付属品が足りない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

標準アクセサリ



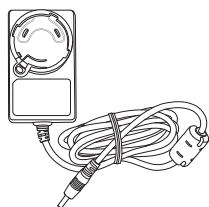
GVI プロジェクタ



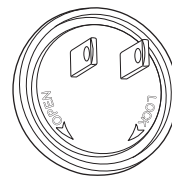
USB-C™ ケーブル



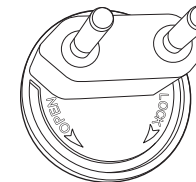
リモコン
(CR2032 電池 1 個付き)



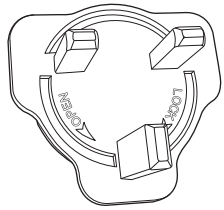
アダプタ (ICP30-120-2000)



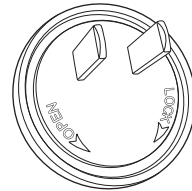
アダプタプラグヘッド (US/JP)



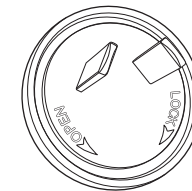
アダプタプラグヘッド (EU)



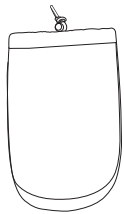
アダプタプラグヘッド (UK)



アダプタプラグヘッド (CHINA)



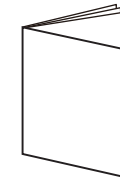
アダプタプラグヘッド (AUS)



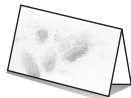
キャリー バッグ



クイックスタート ガイド



法規準拠宣言



保証書



HDMI 対 USB-C™ 変換アダプタ



- ランプの寿命は、環境条件と使用条件により異なります。製品の機能と仕様はすべて予告なしに変更されることがあります。
- 一部のアクセサリは国によって異なる場合があります。日本向けのアダプタヘッドは US/JP、EU、UK が同梱されております。
- AC/DC アダプタをご使用になる場合は、コンセントの近くに装置を設置し簡単に手が届く状態にしてください。
- 互換性を担保するために、正規品のアクセサリをお使いください。

はじめに

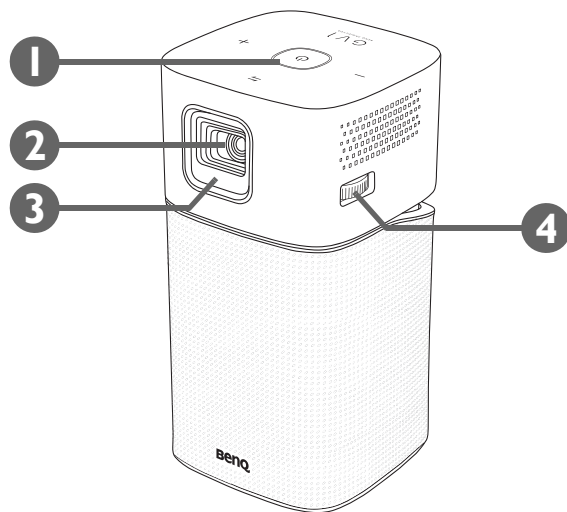
プロジェクタの特長

- **らくらく無線投写**
設定や調整に煩わされることなく、安心して大型スクリーンでコンテンツをお楽しみください。インターネット接続が確立されている場合は、GVI を介してモバイルデバイスから即座にスクリーンをキャストすることができます。GVI を活用することで、リラックスしてコンテンツを楽しむことが可能になります。
- **Bluetooth® スピーカーモード**
GVI を活用すると、最新のスタイルで友達や家族を楽しませることができます。Bluetooth 4.0 インテリジェンス接続を使って GVI をスピーカーとして設定し、モバイルデバイスから音楽を再生することができます。大容量のデータを共有するのであれば、Bluetooth 4.0 は接続が安定し、安全です。又このモードでは、プロジェクタランプがオフしますので、バッテリーの消費を少量で済ませることが可能です。
- **USB-C™ DisplayPort からのメディア再生**
GVI は USB-C™ DisplayPort インターフェイスを使用することにより、ノートパソコンや携帯電話も投写することができます。USB-C™ Gen 3.1 ケーブルを使って GVI を USB-C™ DisplayPort に接続すると、会議やエンターテイメント用にスクリーンを拡張することができます。
- **らくらくマルチメディアエンターテイメント**
内蔵された USB リーダーを使用すると、ムービー、音楽、動画のようなコンテンツも簡単にストリーミングできます。思い出の写真や動画を誰とでも、大型スクリーンで手軽に共有することが可能です。
- **便利な Android ベースの BenQ Launcher**
このプロジェクタは、WLAN 接続で性能を発揮する Android ベースの BenQ Launcher を使って操作し、組み込まれた、またはダウンロードしたストリーミング アプリを介してメディアを投写 / 放送することができます。
- **柔軟な 15 度の調整角度**
さまざまな状況に対応できるように GVI は最大で 15 度まで角度を調整できますので、大型スクリーンにも問題なく投写できます。
- **自動キーストーン補正**
GVI には投写画像を補正するために、自動縦キーストーン調整機能が備わっています。15 度まで角度を調整できますので、設置に手間を煩わせることなくコンテンツをストリームできます。

- **持ち運びが簡単**
GVI は携帯性に優れていますので、出張やレジャーにお出かけの際も簡単に運ぶことができます。
- **最新の LED 光源**
このプロジェクタには、従来の電球よりも寿命が長い LED 電球が採用されています。
- **熱くならない**
他の製品とは異なり GVI が発熱する温度は低いため、お子様が手を触れても火傷を負う心配はありません。

プロジェクタ外観ビュー

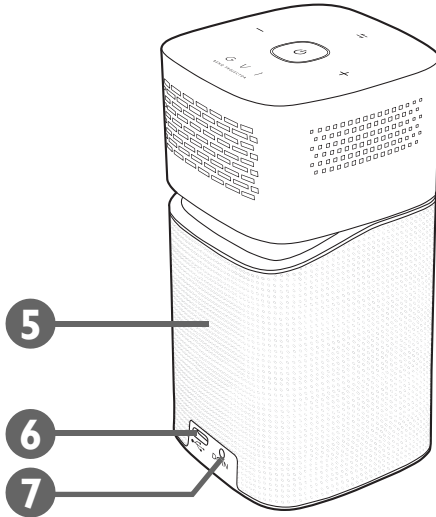
正面および左面



1. コントロールパネル（詳細は [18 ページのコントロールパネル](#)を参照してください。）
2. 投写レンズ
3. 正面 IR センサー
4. フォーカスリング

背面および右面

接続の詳細は、[48 ページの接続](#)を参照してください。



5. スピーカー グリル

スピーカー グリルの内部は背面スピーカーになっています。

6. USB-C™ ポート

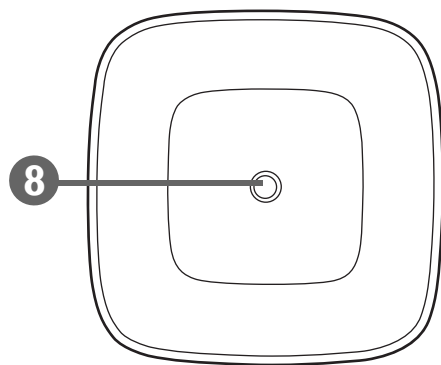
DisplayPort 機能を使ってデバイスを接続し、デバイスやフラッシュドライブから映像を投写したり、カードに保存されたメディアを投写します。

7. DC-IN 電源ジャック



付属の電源アダプタを使って、感電や火災などの危険を防止してください。

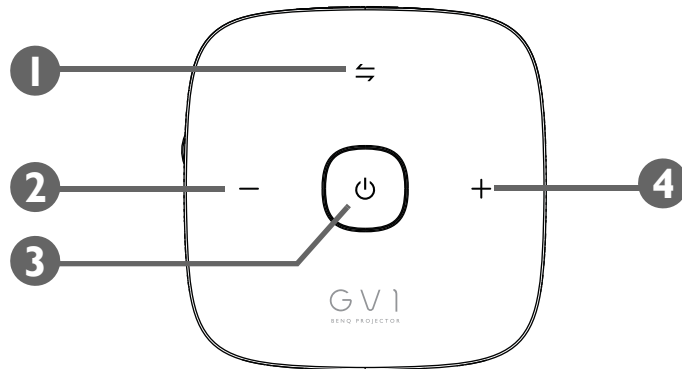
底面



8. 三脚用ネジ穴

프로젝터를三脚に取り付けるための穴です。

制御装置および機能 コントロール パネル










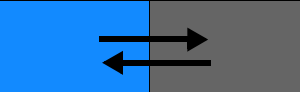







1. ≡ **モード切替キー /LED インジケータ**
 - Bluetooth スピーカーをオン / オフに切り替えます。
 - Bluetooth およびエラーの LED インジケータです。詳細は、[19 ページの LED インジケータ](#)を参照してください。
2. - **音量を下げるキー**







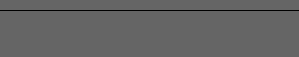



プロジェクトの音量を下げます。
3. ⏻ **電源キー /LED インジケータ**
 - プロジェクトのオン / オフを切り替えます。詳細は、[35 ページのプロジェクタの起動](#)を参照してください。
 - バッテリーの LED インジケータです。詳細は、[19 ページの LED インジケータ](#)を参照してください。
4. + **音量を上げるキー**

プロジェクトの音量を上げます。

LED インジケータ

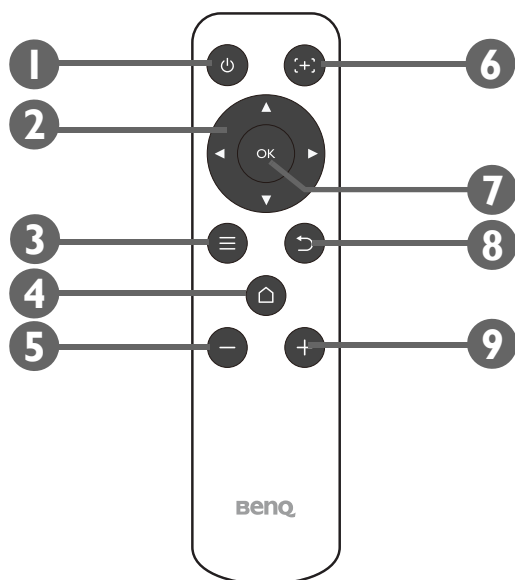
電源キーとモード切替キーには、状態や操作エラーを知らせる LED があります。LED の動作の意味は、下記の表を参照してください。

シナリオ	状態	電源キー		モード切替キー	
		LED の動作	概要	LED の動作	概要
アダプタで充電	バッテリー容量 < 20%	赤 - 短く点滅		該当なし	
	バッテリー容量 = 20 - 60%	黄 - 短く点滅		該当なし	
	バッテリー容量 > 60%	緑 - 短く点滅		該当なし	
	バッテリー容量 = 100%	緑 - 点灯		該当なし	
バッテリーモード	バッテリー容量 < 20%	赤 - 点滅		該当なし	
	バッテリー容量 = 20 - 60%	黄 - 点灯		該当なし	
	バッテリー容量 > 60%	緑 - 点灯		該当なし	
Bluetooth スピーカーモード	ペア / ペアリング準備完了	電源状態による		青 - 点滅	
	ペアリング完了			青 - 点灯	
システムアップデート	システムアップデート中	緑 - 点滅		青 - 点滅	
	システムアップデート失敗	赤 - 点灯		赤 - 点灯	
	システムアップデートが完了し再起動中	緑 - 点灯		青 - 点灯	

シナリオ	状態	電源キー		モード切替キー	
		LED の動作	概要	LED の動作	概要
エラー *	LED エラー	黄 - 点灯		赤 - 点滅	
	ファンエラー	赤 - 点灯		赤 - 点滅	
	光学エンジン温度エラー	該当なし		赤 - 点灯	
	バッテリー温度エラー	該当なし		赤 - 点滅	
	ドライバボードエラー	赤 - 点滅		赤 - 点滅	

* エラーが発生した場合は、プロジェクタの電源を切ってください。

リモコン



1. 電源

初回起動後は一旦 프로젝터를切った後、再度電源を入れてください。



キーパッドボタンを使って初めて 프로젝터를起動した後は、リモコンの電源ボタンを使って電源を入/切することができます。

詳細は、[35 ページの 프로젝터の起動](#)を参照してください。

2. 矢印キー (◀左、▶右、▲上、▼下)

メニュー項目を選択したり、調整を行ったりするには、矢印キーを使用します。

3. ≡メニュー

BenQ Launcher 設定メニューを開きます。

4. ◻ホーム

BenQ Launcher のホームメニューに入ります。



このキーは、 프로젝터が **BenQ Launcher** モードのときにのみ有効になります。

5. - 音量を下げる

프로젝터の音量を下げます。

6. ⌘カーソル

長押しするとマウスカーソルが有効になります。

7. OK

BenQ Launcher メニューの選択肢を確定します。

8. ↶戻る

前のレイヤーに戻ります。

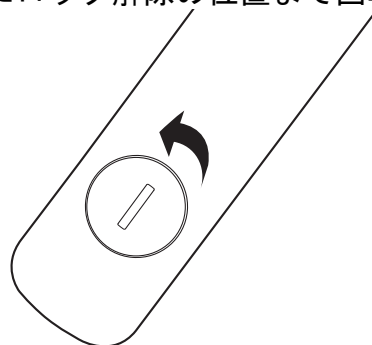
9. + 音量を上げる

프로젝터の音量を上げます。

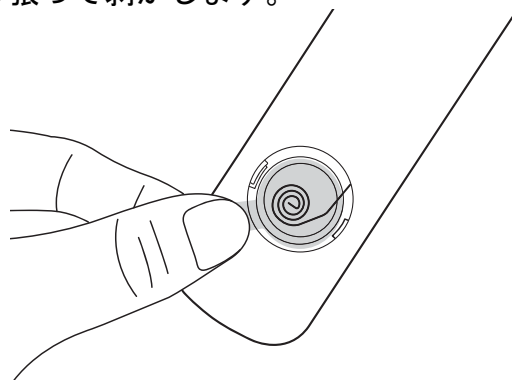
リモコンのバッテリーを有効にする

リモコンをご使用になる前に、先にバッテリーとリモコンの間に挟んである透明のプラスチック製バッテリーステッカーを剥がしてください。

1. 先が平たい物を使ってバッテリーカバーを左回りにロック解除の位置まで回転させます。



2. リモコンからバッテリーカバーを外します。
3. プラスチックのバッテリーステッカーを引っ張って剥がします。



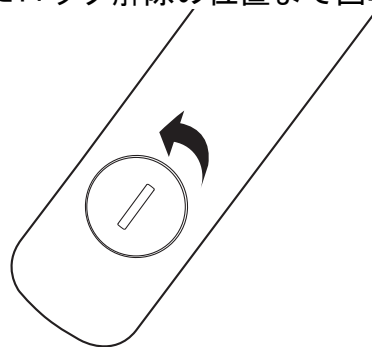
4. バッテリーカバーを元に戻し、右回りに回してロックします。



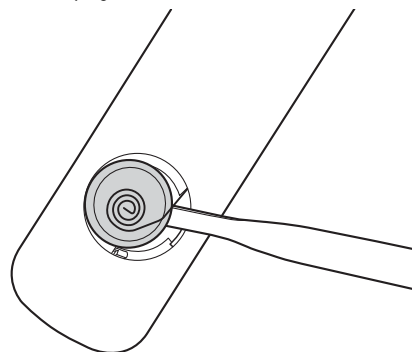
リモコンやバッテリーは台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。

リモコンのバッテリーの交換

1. 先が平たい物を使ってバッテリーカバーを左回りにロック解除の位置まで回転させます。



2. リモコンからバッテリーカバーを外します。
3. 使用済みのバッテリーをゆっくりとリモコンから取り出します。



4. 新しいバッテリーを正しい位置に入れます。
5. バッテリーカバーを元に戻し、右回りに回してロックします。

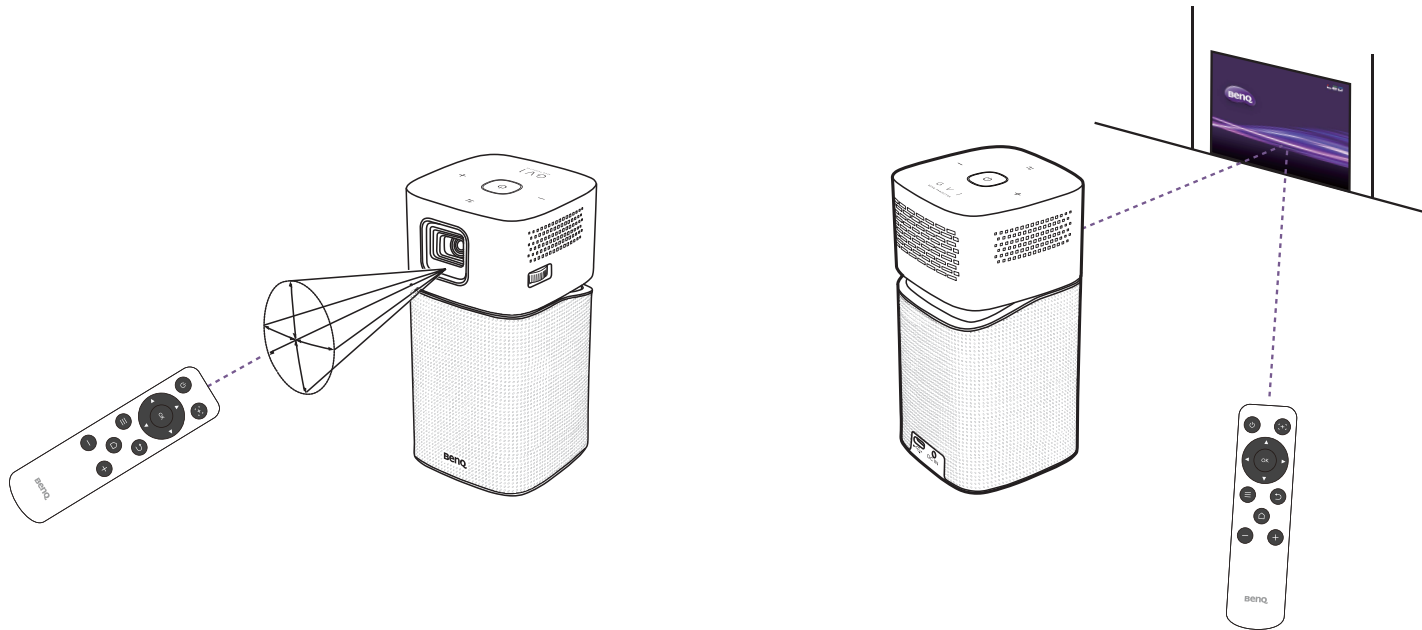


- リモコンやバッテリーは台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。
- バッテリーメーカーが推奨するものと同じか、または同種のバッテリー以外は使用しないでください。
- また、使用済みのバッテリーは地域の環境規定にしたがって処分してください。
- バッテリーを火の中に投げ込まないでください。爆発の危険性があります。

リモコンの有効範囲

プロジェクタの IR リモコンセンサーは本体の正面にあり、左右に 30 度、上下に 20 度の角度で最大 8 メートル（～26 フィート）まで有効範囲です。リモコンはプロジェクタの正面から照射するか、壁に IR 信号を反射させて照射することができます。

リモコンとプロジェクタの IR センサーの間に障害物を置かないでください。



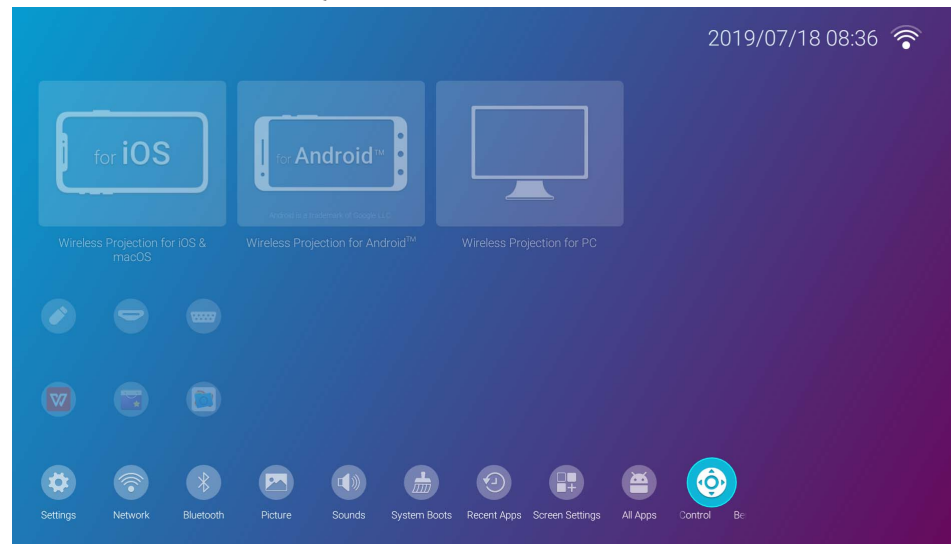
BenQ Smart Control（リモコンアプリ）

設定メニューには、スマートフォンをプロジェクタを操作するためのリモコンとして使用できるような **BenQ Smart Control** アプリをインストールするためのリンクがあります。このアプリをインストールすると、スマートフォンのボタンやタッチジェスチャでプロジェクタを操作できるようになります。

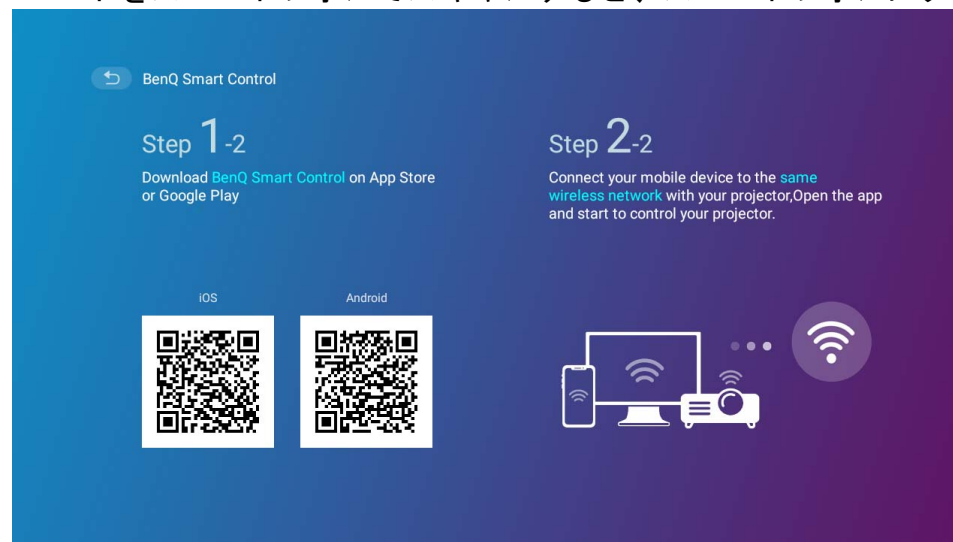
スマートフォンに **BenQ Smart Control** アプリをインストールする

スマートフォンに **BenQ Smart Control** アプリをインストールするには：


1. スマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. **BenQ Launcher** ホーム画面の**設定メニュー**で **BenQ Smart Control** を選択し、**OK** を押します。



3. プロジェクタに表示される QR コードをスマートフォンでスキャンすると、スマートフォンにダウンロードリンクが表示されます。



4. スマートフォンで **BenQ Smart Control** をダウンロードしてインストールします。


 一部のスマートフォンでは、スマートフォンの設定メニューで、ダウンロードしたインストール ファイルを使ってスマートフォンでアプリをインストールできるようにしておく必要があるかもしれません。

BenQ Smart Control アプリを使う

BenQ Smart Control アプリの使用を開始する：

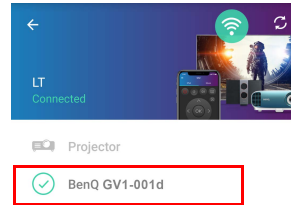
1. 次のオプションから 1 つ選択してください：


- スマートフォンをプロジェクタと同じワイヤレスネットワークに接続します。
- プロジェクタのワイヤレスホットスポットを有効にして、スマートフォンをそのワイヤレスホットスポットに接続します。プロジェクタのワイヤレスホットスポットを有効にする方法については、[86 ページのホットスポット](#)をお読みください。

 **BenQ Smart Control** を正常に機能させるためには、プロジェクタと同じワイヤレスネットワークか、プロジェクタのワイヤレスホットスポットのどちらかに接続する必要があります。

2. **BenQ Smart Control** アプリ  をスマートフォンで開きます。

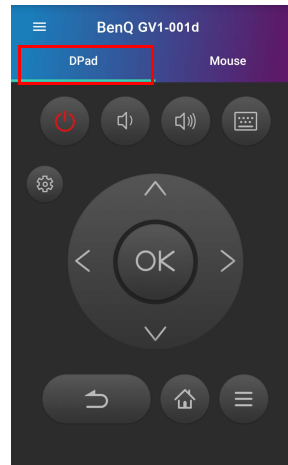
3. **BenQ Smart Control** デバイスリストから 프로젝터를選択します。



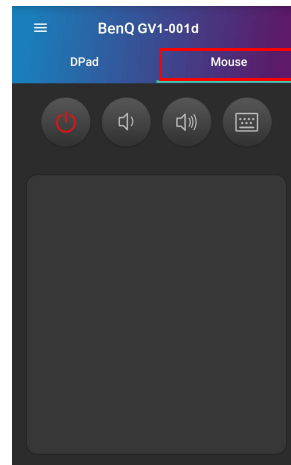
 プロジェクタのデフォルト名は「BenQ GV1-xxxx」です。最後の 4 桁は、MAC アドレスの最後の 4 桁です。

4. **BenQ Smart Control** を開くには、次の方法から 1 つ選択してください。

- **DPad** をタップして、アプリであらかじめ構成したボタンを使って 프로젝터를操作します。



- マウスをタップして、スマートフォンでタッチジェスチャを使って、マウスに似たプロジェクタ上のカーソルを操作します。

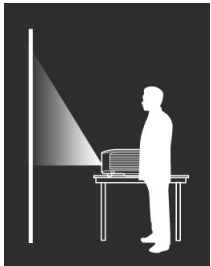

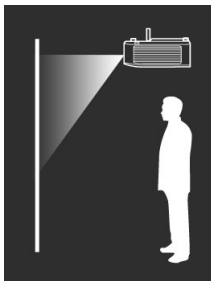



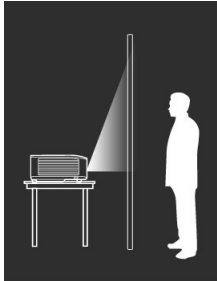


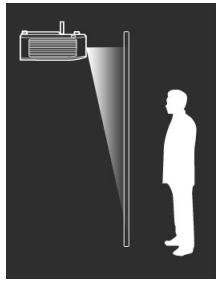
インストール

設置場所の選択

プロジェクタの設置場所を決める際には、次のことに配慮してください。

- スクリーンのサイズと位置
 - コンセントの位置
 - プロジェクタとその他の機器の間の位置と距離
 - プロジェクタと無線アクセスポイントの間の位置と距離、LAN ケーブル使用時のインターネットハブ
- このプロジェクタは、次の方法で設置できます。

<p>1. 前面投写： プロジェクタをスクリーンの正面に床面近くに設置します。 これが最も一般的な設定です。 プロジェクタの電源を入れて、次の設定を行ってください： 設定 > インストール > プロジェクタの設置 > 前面投写</p>	 A silhouette of a person sitting at a desk, looking at a screen. A projector is positioned on the desk, projecting light onto the screen.
<p>2. 天井前面投写： プロジェクタをスクリーン正面の天井近くに昇降させます。 プロジェクタの電源を入れて、次の設定を行ってください： 設定 > インストール > プロジェクタの設置 > 天井前面投写</p> <p> このプロジェクタには天井取り付けコンポーネント / 装置は付いていません。したがって、天井正面を選択する場合は、選択した場所に昇降した位置に設置する必要があります。</p>	 A silhouette of a person standing, looking at a screen. A projector is mounted on the ceiling, projecting light onto the screen.

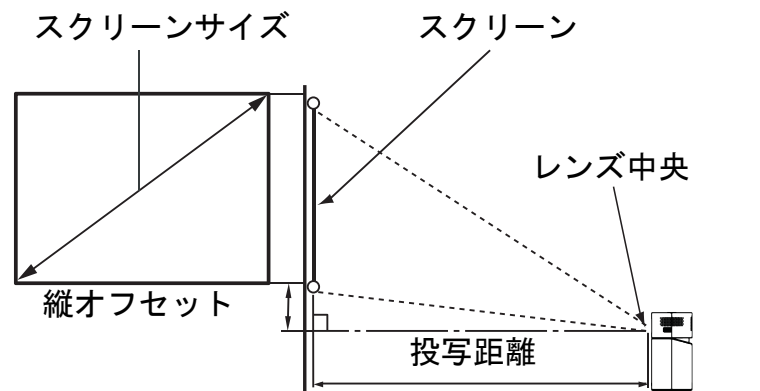
<p>3. リア投写： プロジェクタをスクリーン背面、床面近くに設置します。 プロジェクタの電源を入れて、次の設定を行ってください： 設定 > インストール > プロジェクタの設置 > リア投写</p> <p> 専用の背面投写用スクリーンが必要です。</p>	
<p>4. 天井リア投写： プロジェクタをスクリーン後方の天井近くまで昇降させます。 プロジェクタの電源を入れて、次の設定を行ってください： 設定 > インストール > プロジェクタの設置 > 天井リア投写</p> <p> 専用の背面投写用スクリーンが必要です。</p> <p> このプロジェクタには天井取り付けコンポーネント / 装置は付いていません。したがって、天井正面を選択する場合は、選択した場所に昇降した位置に設置する必要があります。</p>	

最適な投写画像サイズを知る

投写画像サイズは、プロジェクタのレンズからスクリーンまでの距離と、ビデオフォーマットによって決まります。下図のデータは、通常の投写方式で投写した場合のデータを基本としており、投写角度を調整した結果を示すものではありません（1-15度）。


投写サイズ

投写距離を決定するには、下の図と表を参照してください。



スクリーンサイズ			投写距離 (mm)	
対角		高 (mm)	幅 (mm)	平均
インチ	mm			
30	762	373	664	864
35	889	436	775	1007
40	1016	498	886	1151
45	1143	560	996	1295
50	1270	622	1107	1439
55	1397	684	1218	1583

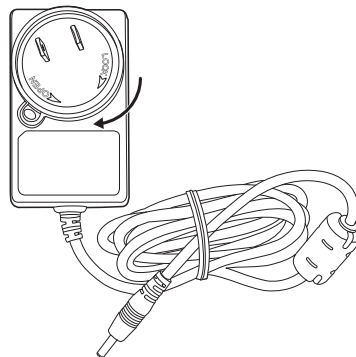
スクリーンサイズ				投写距離 (mm)
対角		高 (mm)	幅 (mm)	平均
インチ	mm			
60	1524	747	1329	1727
65	1651	809	1439	1871
70	1778	871	1550	2015
75	1905	933	1661	2159
80	2032	996	1771	2303
85	2159	1058	1882	2447
90	2286	1120	1993	2591
95	2413	1182	2104	2735
100	2540	1245	2214	2879

 測定値はすべておよその値であり、実際のサイズにより変わります。プロジェクタを完全に固定する場合は、事前に実際のプロジェクタを使って投写サイズ、距離、プロジェクタの光学的特性をお試しになることをお勧めします。こうすることで、最適な設置場所を決めることができます。

操作

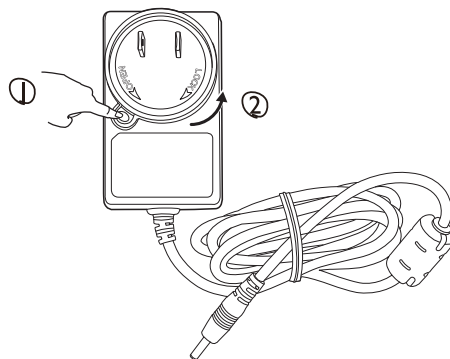
プラグヘッドの取り付け

1. アダプタにプラグヘッドを取り付けます。
2. プラグヘッドがしっかりと固定されるまで右に回転させます。



プラグヘッドの取り外し

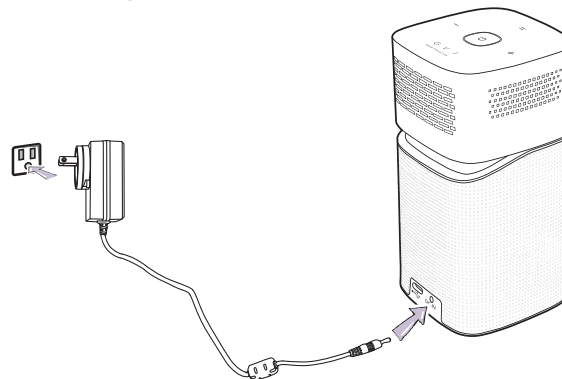
1. アダプタのプラグヘッド横にあるボタンを押します。
2. プラグヘッドを反時計回りに回転させて、アダプタからプラグヘッドを取り外します。



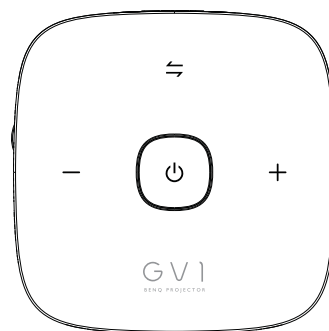
実際のプラグヘッドは地域により異なります。


バッテリーの充電

1. 付属の電源アダプタをプロジェクタとコンセントに接続したままにすると、プロジェクタのバッテリーが充電されます。




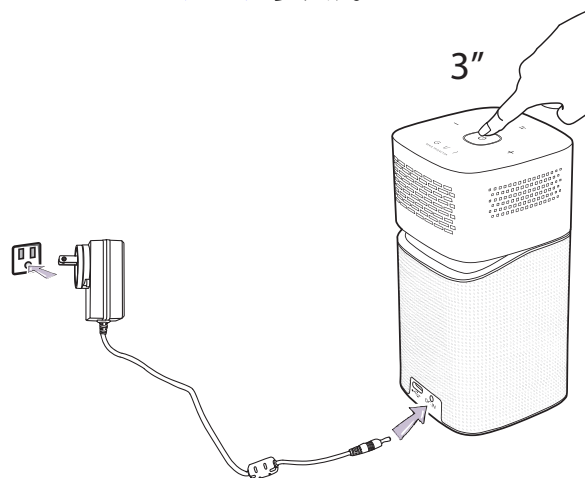
- 充電状況に応じて電源 LED インジケータが点灯します。完全に充電されるとインジケータが緑色に点灯します（LED の動作についての詳細は、[19 ページの LED インジケータ](#)をご覧ください）。



 OTA アップデートを完了できるように、バッテリーは完全に充電しておいてください。


プロジェクタの起動

1. バッテリーを充電するか、付属の電源アダプタをプロジェクタとコンセントに接続してプロジェクタに電源を供給します。
2. 電源キー  を 3 秒間押します。プロジェクタの電源 LED インジケータが点灯し、電源が供給されるとゆっくりと青く点滅します。充電設定に応じて点灯します（19 ページの LED インジケータ参照）。




-
- ! リモコンの電源ボタンではプロジェクタをオンにすることはできません。プロジェクタをオンにするには、プロジェクタの上面にある電源キーを押してください。
 - プロジェクタに直接電源を供給する場合は、付属の電源ケーブルを使って感電や火災などの危険を防止してください。
-

3. DisplayPort（バージョン 1.1 以上）または USB-C™ ストレージデバイスをサポートするビデオ装置をプロジェクタの背面にある USB-C™ ポートに接続します。無線接続でビデオを投写したい場合、または **BenQ Launcher** にアクセスしたい場合は、ビデオ機器を接続する必要はありません。
-

 接続オプションについての詳細は、[48 ページの接続](#)を参照してください。

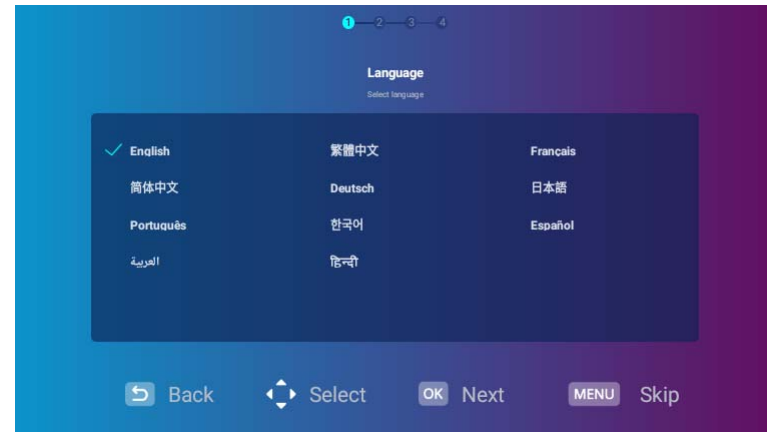
4. ファンが稼働を開始し、プロジェクタがウォームアップしている間スタートアップ画像が表示されます。これには数分かかります。ウォームアップ中は、プロジェクタはいかなるコマンドにも応答しません。
5. 初めてプロジェクタを起動すると、プロジェクタの設定手続きを案内するセットアップウィザードが開きます。すでに設定が完了している場合は、このステップを省略してください。
 - リモコンの矢印キー（◀/▶/▲/▼）を使って、メニューアイテムを移動します。


- **OK** を使って、選択したメニューアイテムを確定します。
- 前のメニューに戻るには、**戻る**を使用します。
- メニューをスキップするには、**MENU**を使用します。

 下のセットアップ ウィザードのスクリーンショットは参照用であり、実際の仕様とは異なる場合があります。

ステップ 1 :

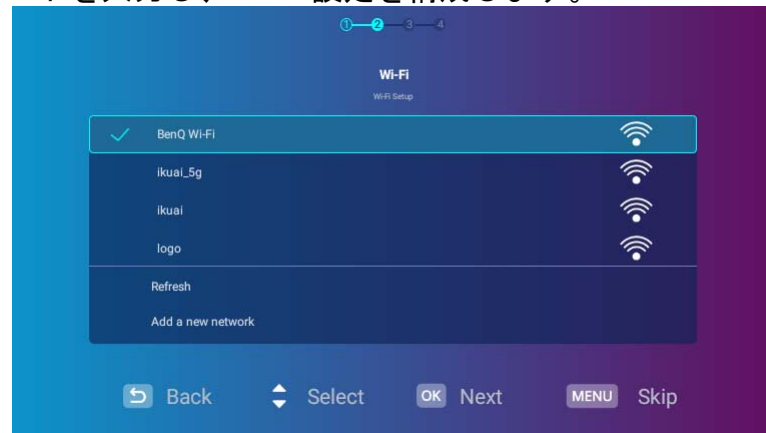
言語を指定します。




 選択可能な言語は、ご購入地域によって変わります。また、将来予告なくアップデートされる場合があります。

ステップ 2 :

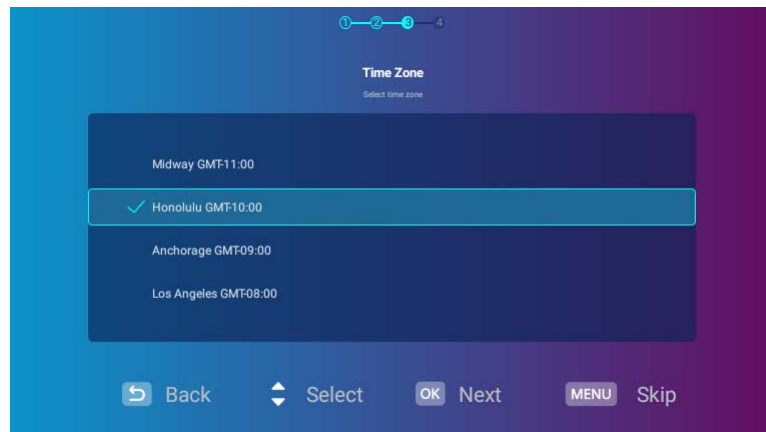
Wi-Fi ネットワークを選択してパスワードを入力し、Wi-Fi 設定を構成します。



 隠し Wi-Fi ネットワークに接続するには、**新しいネットワークを追加**を選択して SSID、セキュリティ設定、ネットワークのパスワードを入力します。

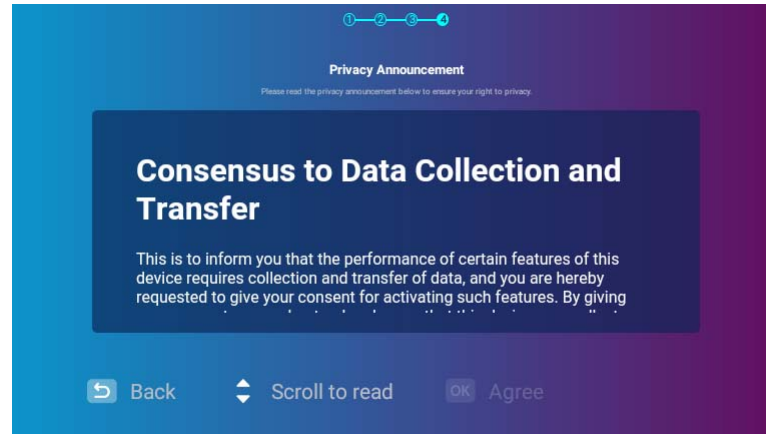
ステップ 3 :

タイムゾーンを指定します。




ステップ 4 :

プライバシーに関する通知をお読みになり、**OK** を押します。

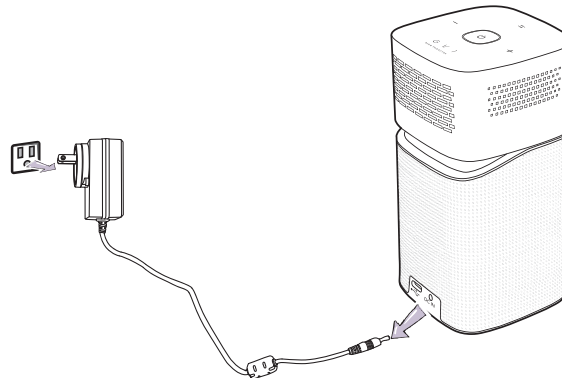


ステップウィザードが完了しました。デバイスとプロジェクタを接続して動画を投写することができます。詳細は、[48 ページの接続](#)を参照してください。

プロジェクタをシャットダウンする

1. プロジェクタまたはリモコンの  を押します。プロジェクタにシャットダウンの確定メッセージが表示されます。
2. 電源 LED インジケータが切れて、プロジェクタにアダプタを接続すると、充電状況に応じて再度点灯します（19 ページの LED インジケータを参照）。ランプを冷却するために、ファンが稼働し続けます。

長期間プロジェクタをご使用にならない場合は、電源ケーブルを抜いておいてください。



- プロジェクタを切った直後に再び電源を入れると、高熱によりランプの寿命が短くなる場合がありますのでお止めください。
- 実際のランプの寿命は、環境や使い方により異なります。

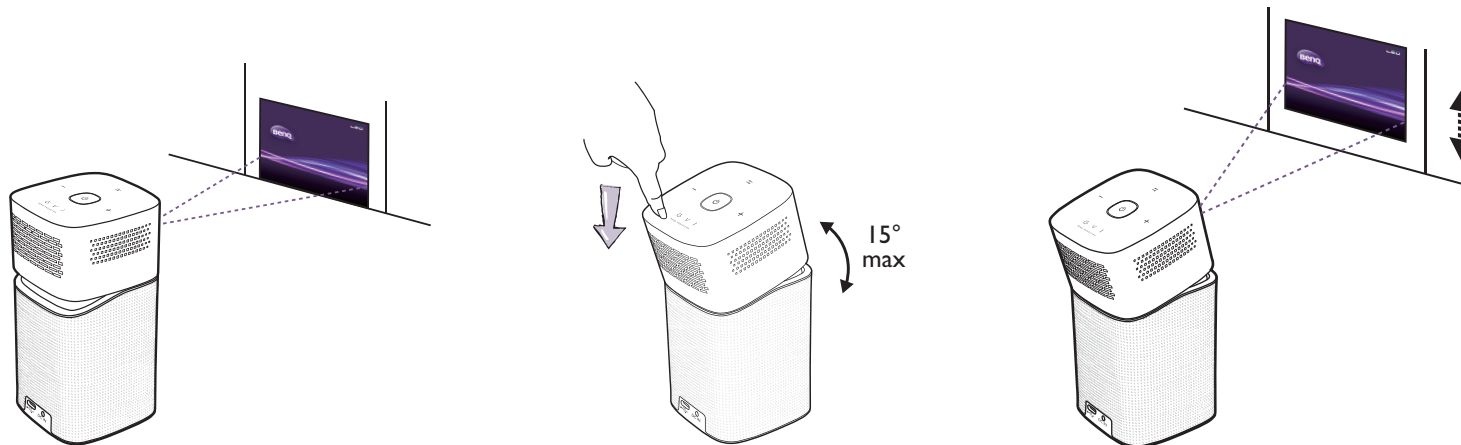
投写画像の調整

投写角度の調整

本機には回転ヘッドが備わっており、画像の高さや投写角度を調整することができます。

投写角度を調整する：

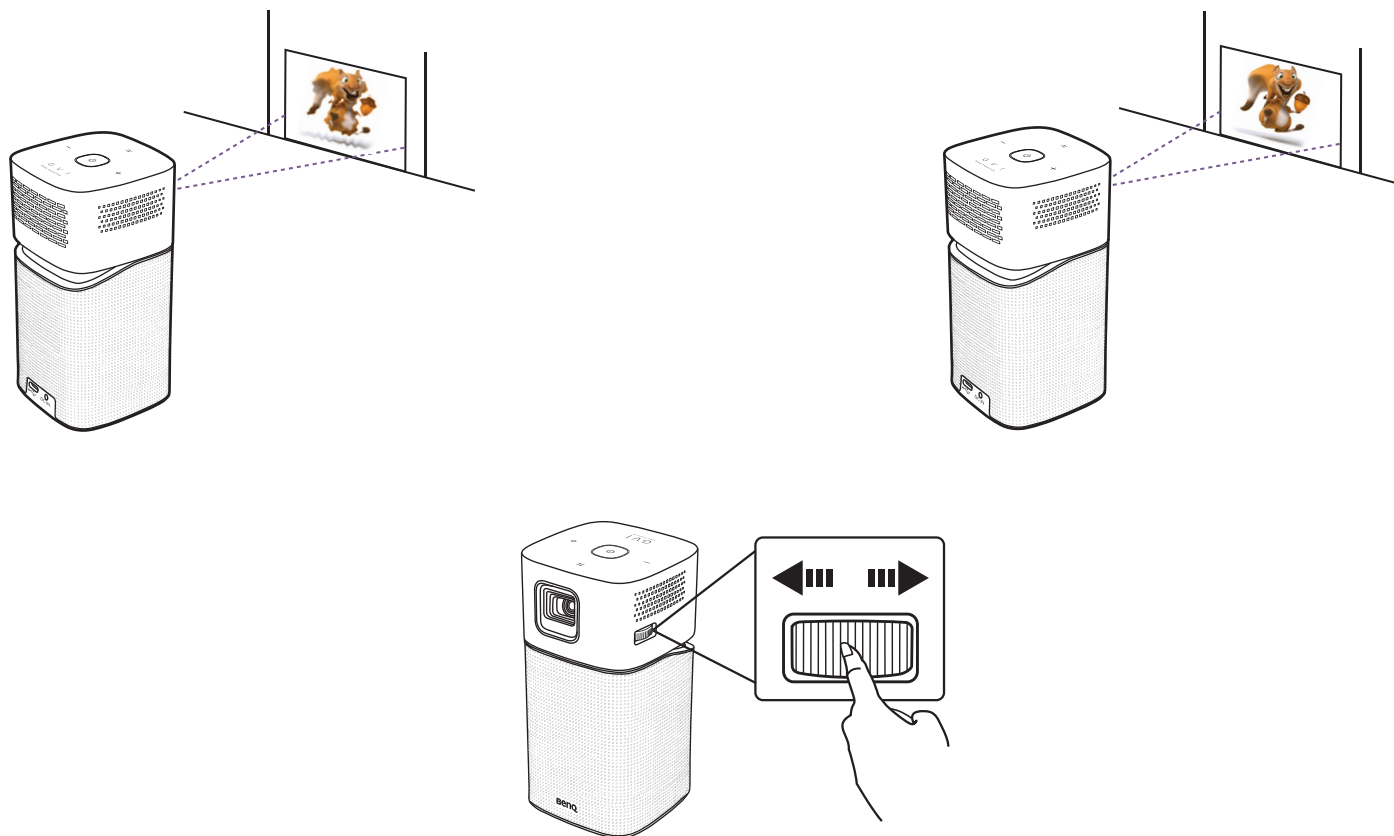
- ヘッドを上向き、または下向きに高さ調整します。



- 調整角度は最大 15 度です。
- スクリーンとプロジェクタが互いに垂直でない場合、投写イメージは縦方向に台形になります。このような問題を補正する方法については、[42 ページの台形の補正](#)を参照してください。

画像の明瞭さの微調整

画像を鮮明にするには、プロジェクタの側面にあるフォーカスリングを使用します。



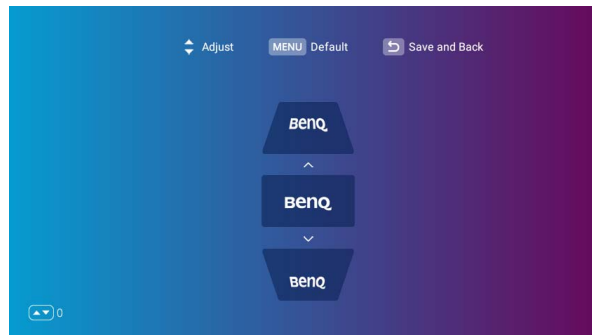
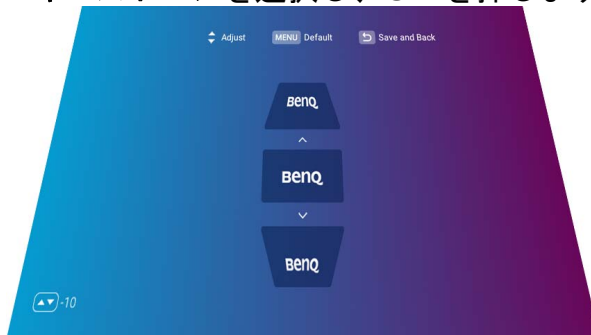
! ランプが点灯しているときには絶対にレンズを覗かないでください。ランプからは強い光が発されており、目を傷つける場合があります。

台形の補正


台形補正とは、投写画像の上辺または下辺のいずれかが明らかに長くなってしまいう状態を補正することです。プロジェクタがスクリーンに対して垂直でないときに生じます。

キーストーンを調整する：台形となった画面を補正する事を意味します。

1. リモコンの下向きキー ▼ を押して、設定メニューをナビゲートします。
2. 設定を選択し、**OK** を押します。
3. インストールを選択し、**OK** を押します。
4. オートキーストーンを OFF にします。
5. キーストーンを選択し、**OK** を押します。




- 画像上部のキーストーンを補正するには、リモコンで ▲ を使用します。
- 画像下部のキーストーンを補正するには、リモコンで ▼ を使用します。
- デフォルトのキーストーン設定に戻るには、リモコンでメニューボタンを押します

 これらの調整は、インストールメニューでオートキーストーンが無効の場合に限ります。詳細は、[87 ページのインストール](#)を参照してください。

6. キーストーンの調整が完了したら、**↵** を押して変更内容を保存して前のメニューに戻ります。または、**⏪** を押すと変更内容が保存され、ホーム画面に直接戻ります。

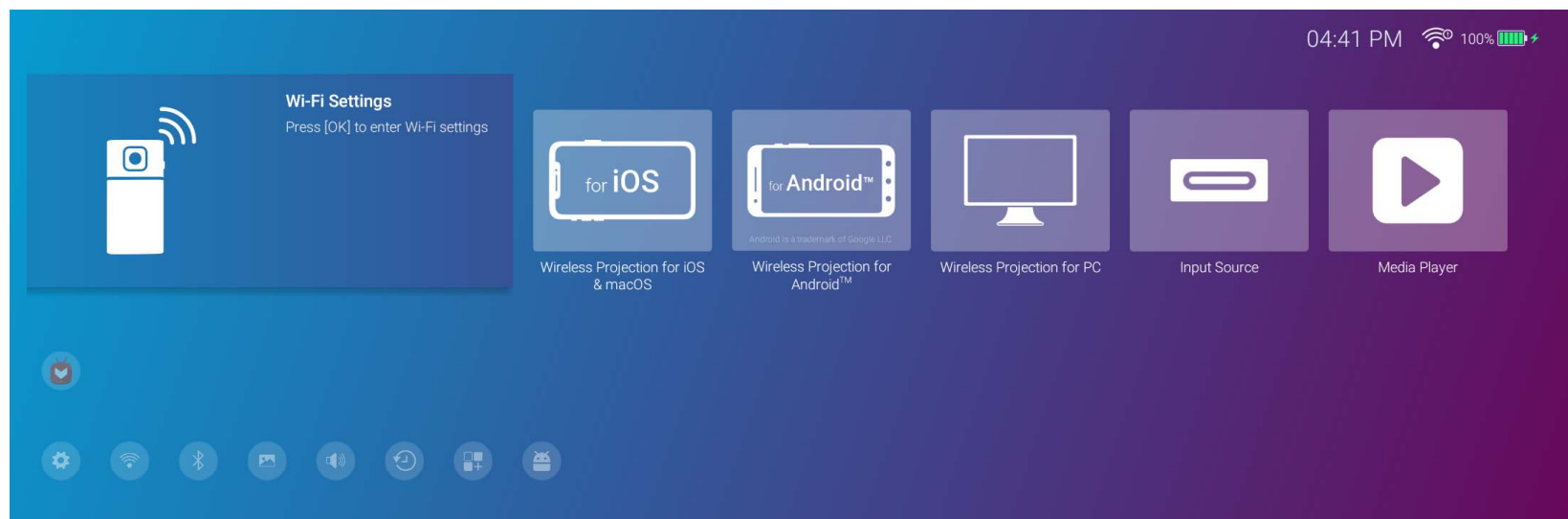
BenQ Launcher



BenQ Launcher 動画が無線で投写したり、メディアファイルを再生したり、アプリをストリーミングしたり、プロジェクタの設定を調整したりすることができるプロジェクタのオペレーティングシステムです。

 リモコンを使って **BenQ Launcher** 機能进行操作します。本機のコントロールパネルキーはプロジェクタの機能しか制御できません。

BenQ Launcher ホームページ


接続した入力源から画像が投写されない場合は、デフォルトにより **BenQ Launcher** が表示されます。プロジェクタが入力源から投写している場合は、リモコンの  を押すと **BenQ Launcher** モードに戻ることができます。




-  BenQ Launcher のファームウェアバージョンによっては、実際の画面が異なる場合があります。
-  OTA アップデートを完了できるように、バッテリーを最低でも 60% 以上維持してください（バッテリーのステータスアイコンで 3 本分）。

BenQ Launcher ホームページには 6 つのメインセクションがあります。


- **無線投写ボタン** - iOS/Android デバイスやラップトップ /PC を介して無線投写する方法を表示します。
 - **入力ソースボタン** - USB-C™ を介して接続している現在のデバイスを投写します。
-

 DisplayPort (バージョン 1.1 以上) 機能を搭載しているデバイスのみ USB-C™ 接続で投写することができます。

- **メディアプレーヤーボタン** - USB-C™ で接続したデバイスに保管されたメディアファイルを再生します。
-

 メディアプレーヤー ボタンは、機器が USB-C™ ポートを介してプロジェクタと接続されている場合にホームページ上に表示されます。

- **ステータスバーのアイコン** - 時間、無線、バッテリーの状態を示すアイコンです。
 - **アプリのショートカット** - **Aptoide** アプリマーケットやその他のアプリに楽にアクセスできます。
 - **設定メニュー** - Wi-Fi、Bluetooth、その他の設定を調整する設定メニューへのショートカットです。
-

 リモコンの下向きボタン ▼ を押すと、**設定メニュー**にアクセスできます。

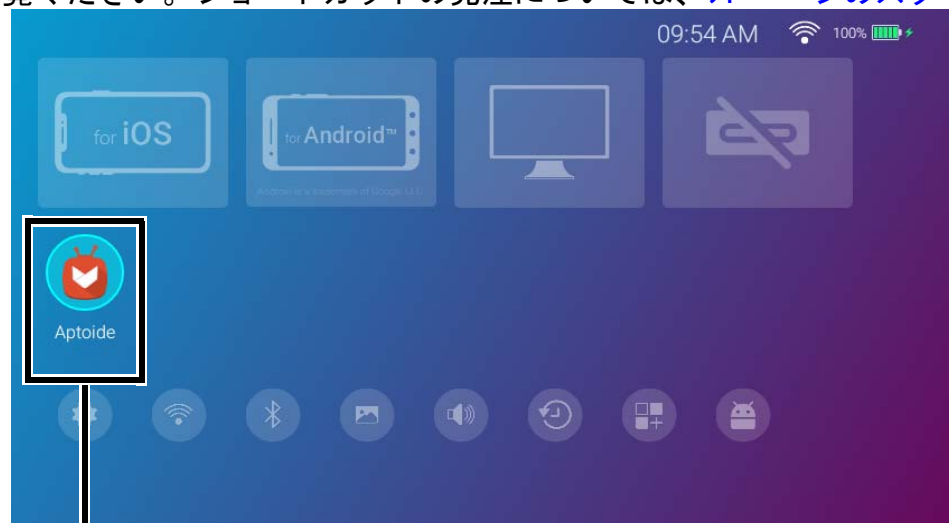
BenQ Launcher ホームページをナビゲートする

1. **BenQ Launcher** ホームページからリモコンの ◀/▶/▲/▼ を押して機能を選択し、**OK** を押します。
2. 詳しい操作方法については、画面の指示に従ってください。

アプリのショートカットの使い方

ホームページ **BenQ Launcher** からリモコンの下向きボタン▼を押して、アプリのショートカットセクションにアクセスします。ここにはアプリをストリーミングするためにプリインストールされている **Aptoide** アプリマーケットや、プロジェクタにインストールされているその他のアプリが表示されます。その他のデフォルトのアプリは、設定した言語によって表示されるアプリが異なります。

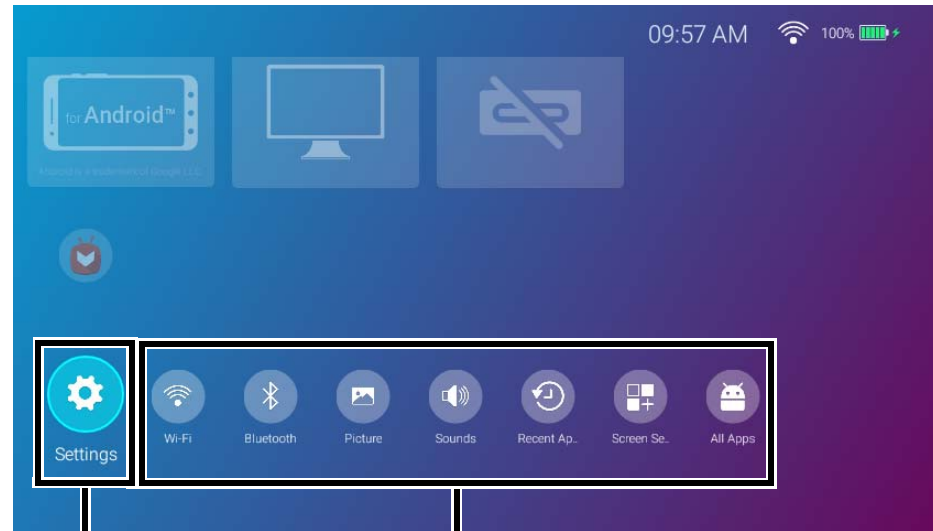
このブロックには最大 10 個までショートカットを維持できます。プロジェクタにインストールしたすべてのアプリにアクセスするには、[92 ページのすべてのアプリ](#)をご覧ください。ショートカットの発注については、[91 ページのスクリーン設定](#)をご覧ください。



アプリのショートカット

BenQ Launcher 設定メニューの使用方法

BenQ Launcher ホームページからリモコンの下向きボタン ▼ を 2 回押すと、設定メニューセクションが開きます。ここにはプロジェクトのすべての設定メニューにアクセスできるボタンや、設定メニューの中の各種サブメニューを開くショートカット ボタンがあります。



フル設定メニュー

サブメニュー ショートカット



BenQ Launcher のファームウェア バージョンによっては、実際の画面が異なる場合があります。

設定メニューについての詳細は、[79 ページの設定メニューについて](#)を参照してください。

文字入力

BenQ Launcher 内のメニューでは、文字を入力する必要があります。テキスト欄に文字を入力する：

1. テキストを入力するテキスト欄を選択します。

2. リモコンの **OK** を押すと、英数字キーボードが表示されます。
3. リモコンの ◀/▶/▲/▼ を押してキーボードをナビゲートし、**OK** を押して文字 / キー / 記号を選択して入力します。
4. ⏪ を押すと、いつでもキーボードを閉じることができます。



実際のキーボードの種類は、設定した言語により異なります。詳細は、[88 ページの設定](#)を参照してください。

接続


プロジェクタをデバイスと接続して動画を投写するには、さまざまな方法があります。

無線接続 (Wi-Fi)

- スマートフォン、タブレット、ラップトップ / PC

有線接続 (USB-C™ ポート)

- スマートフォン、タブレット、ラップトップ / PC

-
-  USB-C™ ポートを介してデバイスと接続するには USB-C™ ケーブルが必要です。また、動画を投写するためには DisplayPort (バージョン 1.1 以上) 機能に対応している必要があります。
 - プロジェクタをバッテリー電源で稼働する場合 (コンセントに接続していない)、USB-C™ ポートに接続しているデバイスを充電したり、電源を供給したりしません。コンセントに接続した場合にのみプロジェクタは USB-C™ ポートに接続しているデバイスを充電したり、電源を供給したりすることができます。
-

- USB-C™ フラッシュドライブ

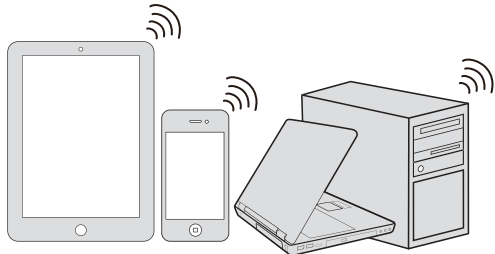
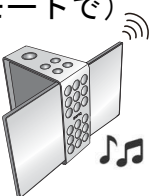
プロジェクタは Bluetooth スピーカー / ヘッドフォンに接続してスピーカー / ヘッドフォンから音声を再生したり、モバイルデバイスを接続して Bluetooth を介してプロジェクタのスピーカーから音声を再生したりすることができます。

信号ソースをプロジェクタに接続する前に、次の点を確認してください。

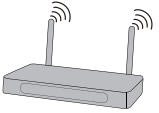
- プロジェクタは接続する無線 AP の有効範囲内に設置してください。
- 各ソースに正しい信号ケーブルを使用します。
- ケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。

無線接続：スマートフォン、タブレット、ラップトップ/PC

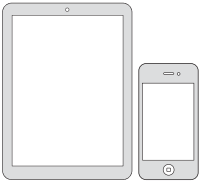
Bluetooth スピーカー
(プロジェクタモードで)



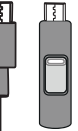
無線 AP



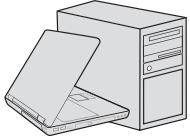
USB-C™ DisplayPort 搭載
の Android™ デバイス



USB-C™ フラッシュ
ドライブ



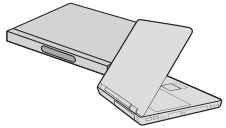
USB-C™ DisplayPort
搭載デバイス



HDMI 対 USB-C™
変換アダプタ



DVD プレーヤー /
ラップトップ




上の接続図は参照用です。

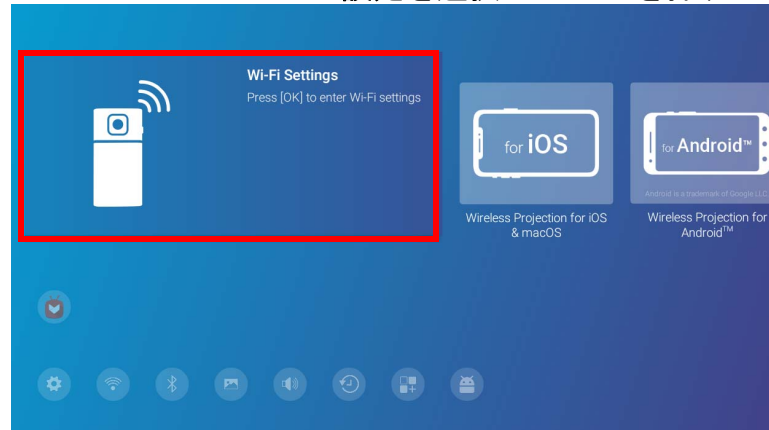
無線接続

Wi-Fi ネットワークを介してプロジェクタを接続する

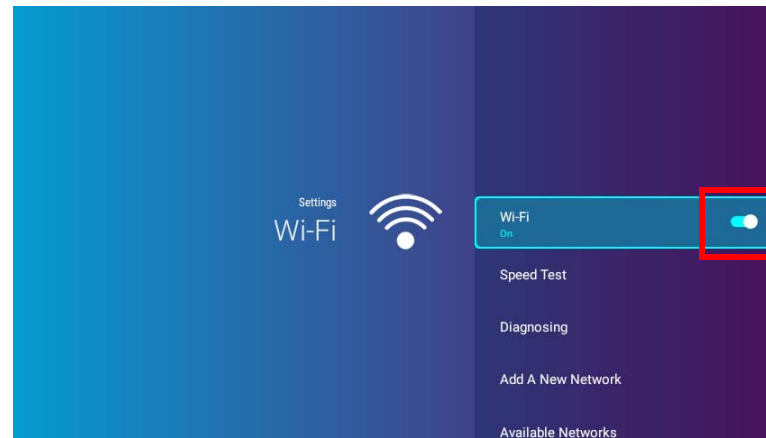
プロジェクタに無線で投写するには、プロジェクタを Wi-Fi ネットワークに接続する必要があります。プロジェクタを Wi-Fi ネットワークに接続する、または Wi-Fi ネットワークに切り替える：

 セットアップ ウィザードの段階ですでにプロジェクタを Wi-Fi ネットワークに接続してある場合は、このセクションでの手続きはスキップしてください。

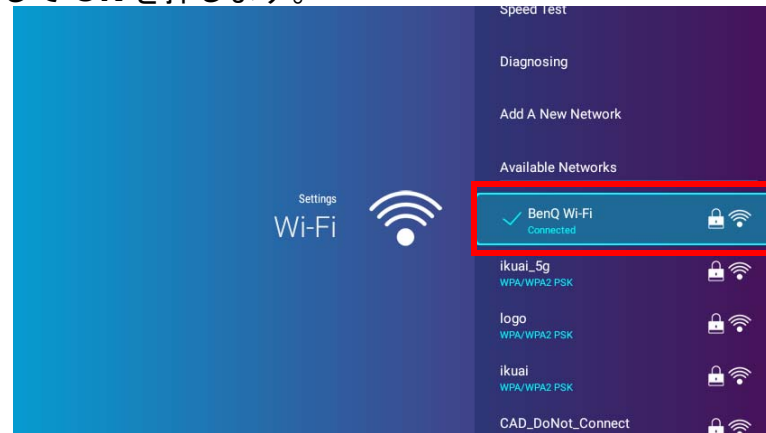
1. プロジェクタの電源を入れる（[35 ページのプロジェクタの起動](#)を参照してください）。
2. **BenQ Launcher** インターフェイスのホームページで **Wi-Fi 設定** を選択して **OK** を押すと Wi-Fi 設定にアクセスできます。



3. **Wi-Fi** を選択し、**OK** を押して Wi-Fi を有効にします。



4. 接続したい無線 AP 用の SSID を選択して **OK** を押します。

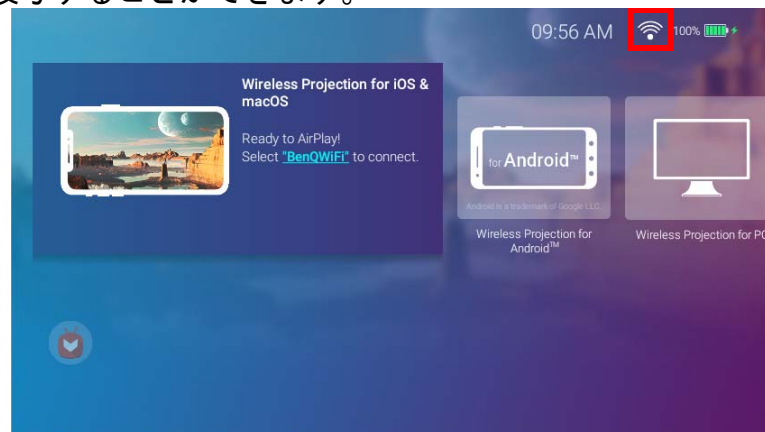


- 隠し Wi-Fi ネットワークに接続するには、**新しいネットワークを追加**を選択して SSID、セキュリティ設定、ネットワークのパスワードを入力します。
- 使用可能な Wi-Fi ネットワークのリストは、10 秒ごとに更新されます。選択したい SSID がリストされない場合は、更新が完了するまでお待ちください。

5. 初回にセキュア SSID を選択した場合、パスワードを入力するための画面が開きます。仮想キーボードを使ってパスワードを入力してください。パスワードの入力が完了したら、**次へ**を選択するとプロジェクタが自動的に接続します。

- パスワードはプロジェクタのメモリに保存されます。今後同じ SSID を選択するときには、プロジェクタのメモリからその SSID が削除されていない場合はパスワードを再入力する必要はありません。
- パスワードを間違えた場合は、**もう一度やり直してください**を選択して仮想キーボードに戻るか、**利用できるネットワークの表示**を選択して SSID のリストに戻ってください。

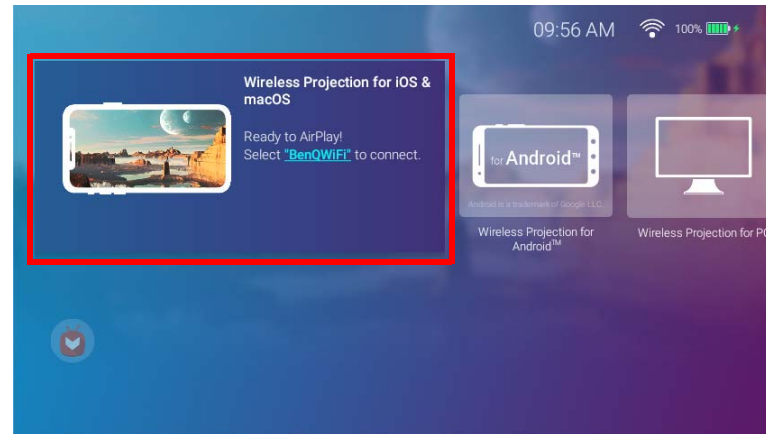
6. 無線 AP に接続すると、ワイヤレス接続アイコンが **BenQ Launcher** インターフェイスの右上隅に表示されます。以上でデバイスをプロジェクタに無線接続して映像を投写することができます。



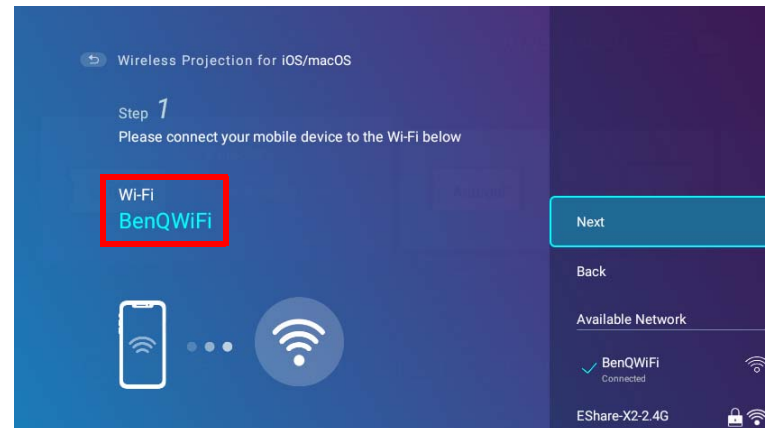
iOS および macOS® の無線投写

iOS デバイスを接続して AirPlay で映像を投写する：

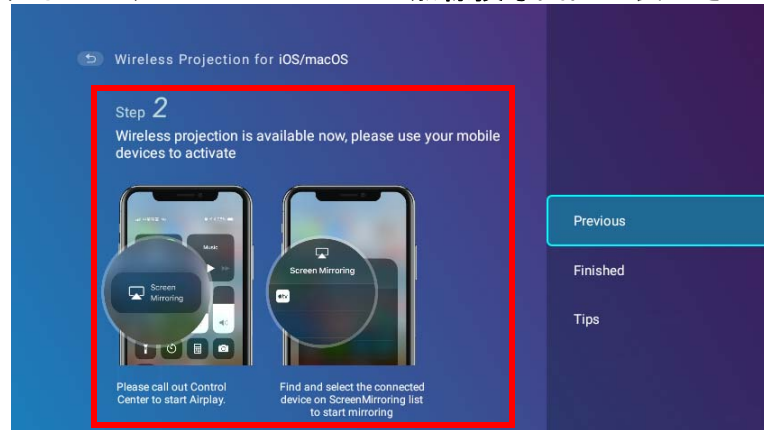
1. **BenQ Launcher** インターフェイスのホームページで **iOS & macOS の無線投写** を選択して **OK** を押します。



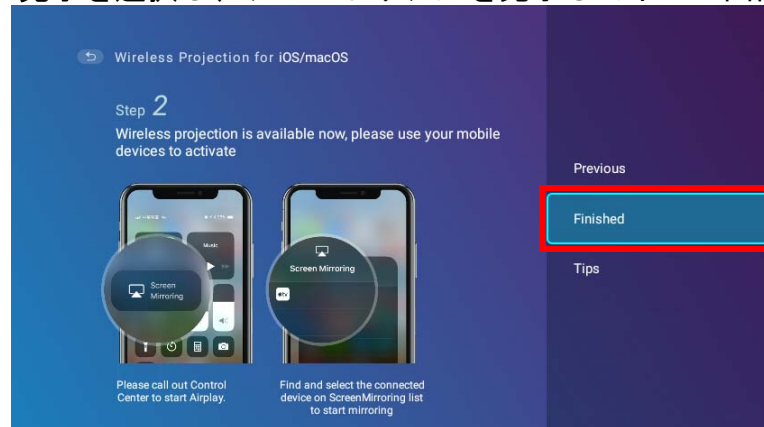
2. iOS モバイルデバイスの Wi-Fi メニューで **iOS & macOS の無線投写** 画面に表示される Wi-Fi ネットワークに接続し、**次へ** を選択します。



3. AirPlay で iOS デバイスの画面を投写するには、**iOS & macOS の無線投写**画面に表示される手順に従ってください。



4. **iOS & macOS の無線投写**メニューの**完了**を選択し、チュートリアルを完了してホーム画面に戻ります。

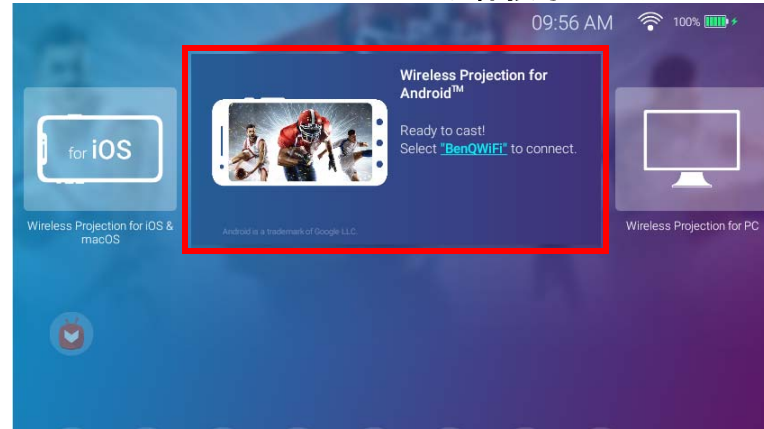


投写が完了したら、iOS デバイスの AirPlay を無効にして接続を終了します。

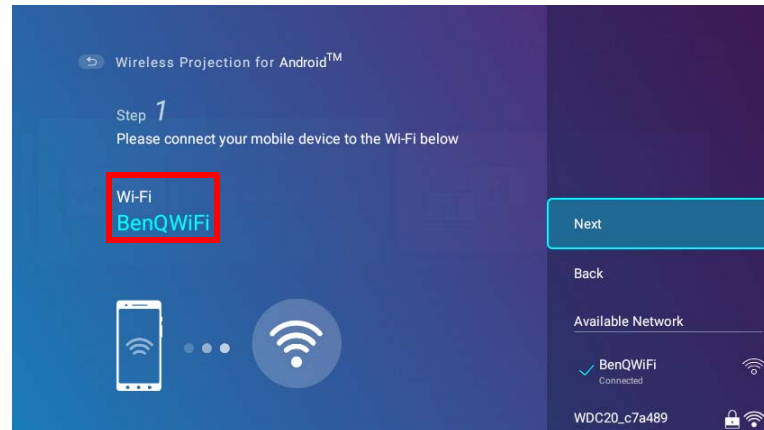
Android™ の無線投写

Android™ デバイスを接続して映像を投写する：

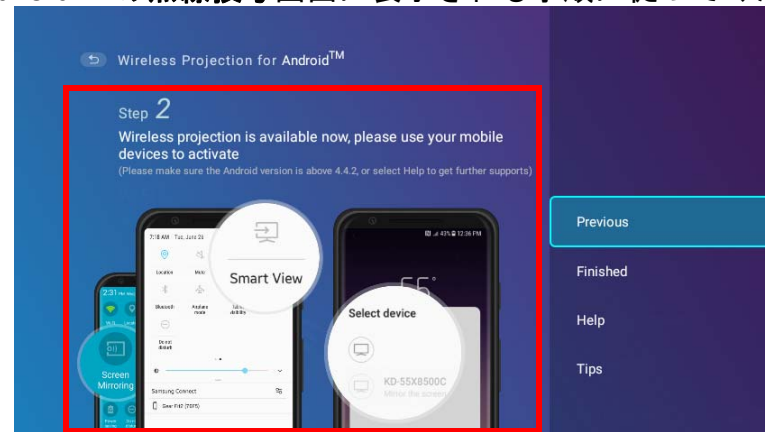
1. **BenQ Launcher** インターフェイスのホームページで **Android™ の無線投写** を選択して **OK** を押します。



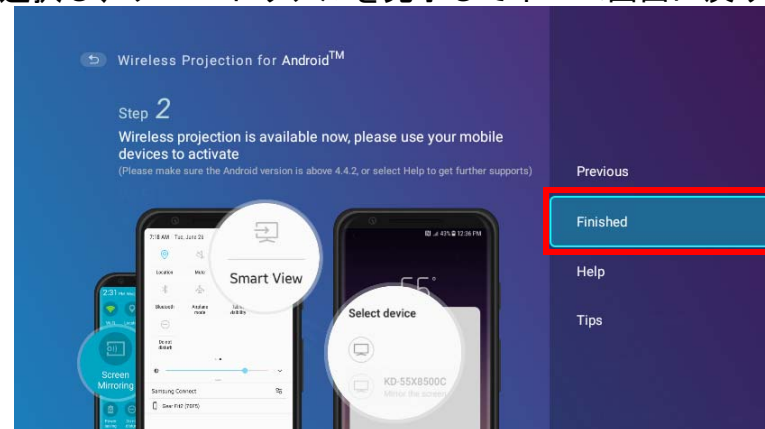
2. Android モバイルデバイスの Wi-Fi メニューで **Android™ の無線投写** 画面に表示される Wi-Fi ネットワークに接続し、**次へ** を選択します。



3. Android の画面を投写するには、**Android™ の無線投写画面**に表示される手順に従ってください。



4. **Android™ の無線投写画面の完了**を選択し、チュートリアルを完了してホーム画面に戻ります。

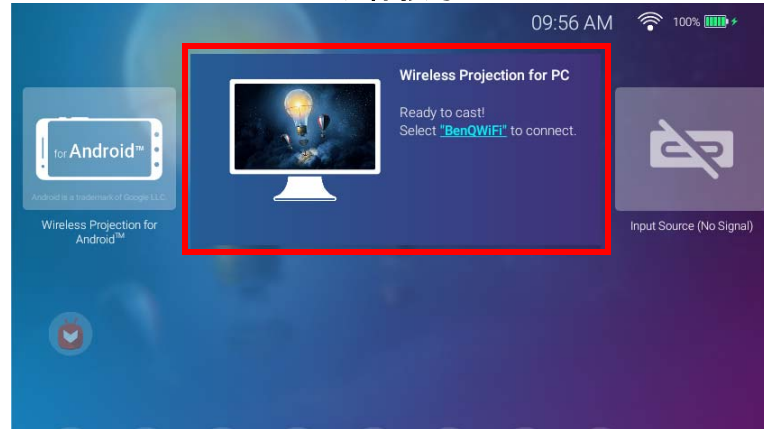


投写が完了したら、Android デバイスのスクリーンキャストを無効にして接続を終了します。

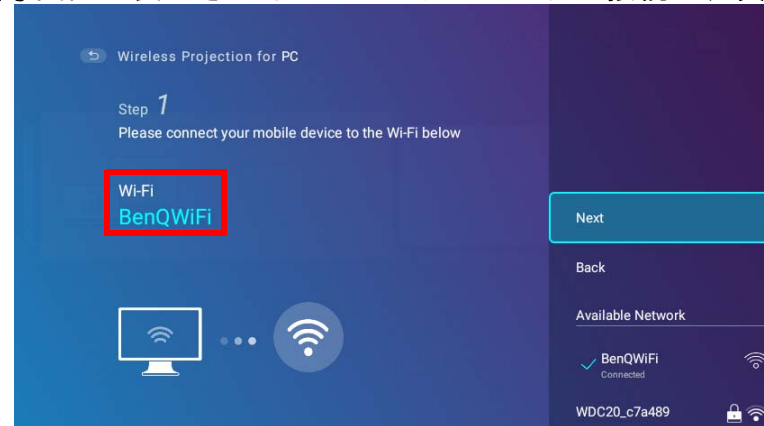
PC の無線投写

PC を接続して映像を投写する：

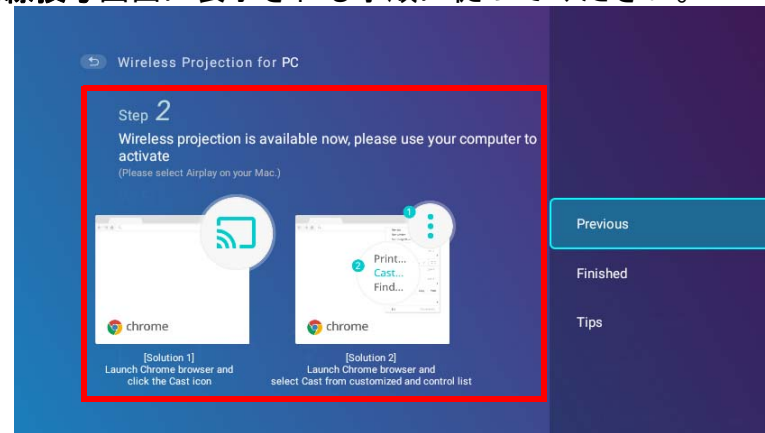
1. **BenQ Launcher** インターフェイスのホームページで **PC の無線投写** を選択して **OK** を押します。



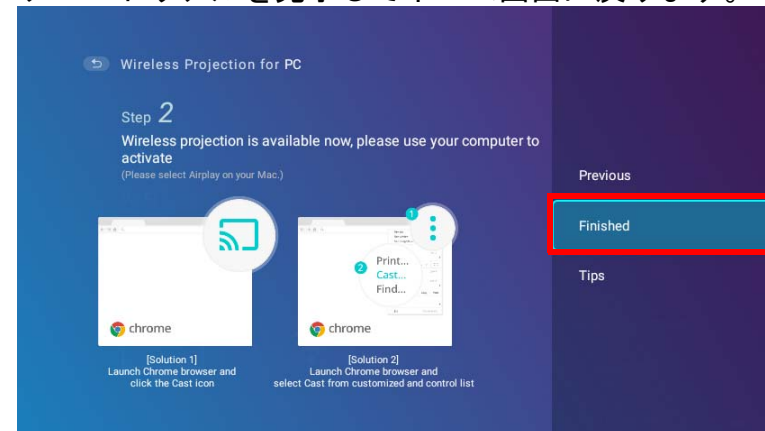
2. PC の Wi-Fi メニューで **PC の無線投写** 画面に表示される Wi-Fi ネットワークに接続し、**次へ** を選択します。



3. PC の画面を投写するには、**PC の無線投写画面**に表示される手順に従ってください。




4. **PC の無線投写画面の完了**を選択し、チュートリアルを完了してホーム画面に戻ります。



投写が完了したら、PC のスクリーンキャストを無効にして接続を終了します。

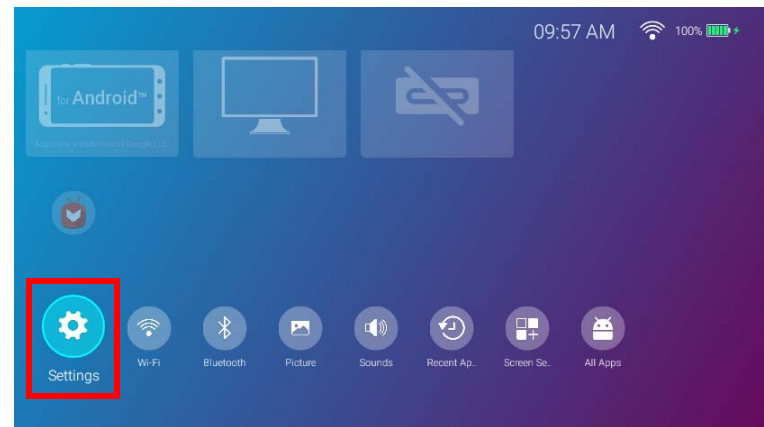
Wi-Fi ホットスポット

Wi-Fi ネットワークの圏外にプロジェクタがある場合は（キャンプ場など）、デバイスを直接プロジェクタに無線接続して、ローカルメモリからファイルを投写できるように閉じられたネットワークを作成するためにプロジェクタを Wi-Fi ホットスポットとして構成することができます。

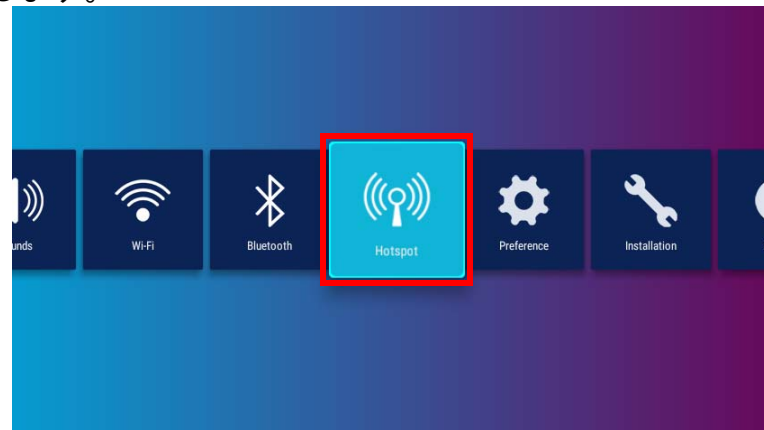
 Wi-Fi ホットスポットモードでは、プロジェクタはインターネットに接続できません。

Wi-Fi ホットスポットを作成する：

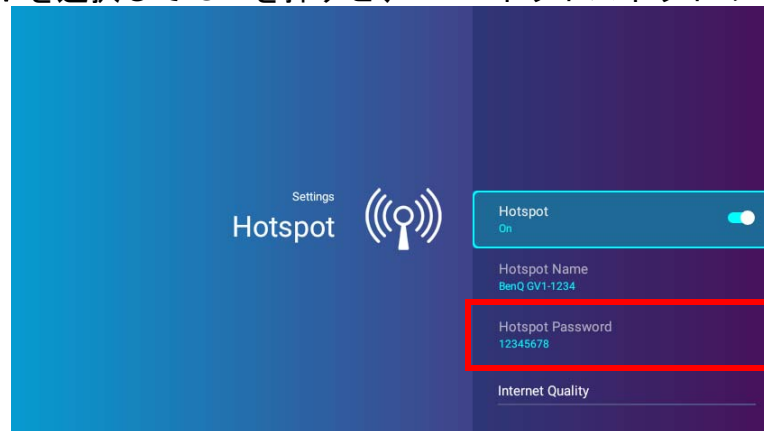
1. **BenQ Launcher** インターフェイスのホームページでリモコンの下向きキー ▼ を押して、設定メニューをナビゲートします。
2. **設定**を選択し、**OK** を押します。



3. ホットスポットを選択し、OK を押します。

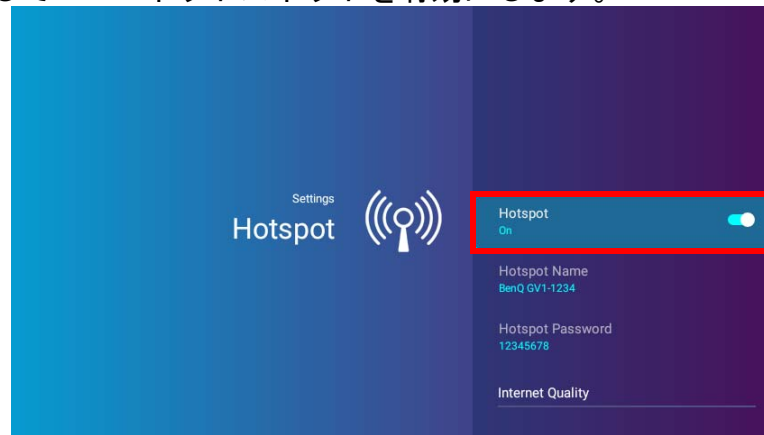


4. (任意) ホットスポットのパスワードを選択して OK を押すと、Wi-Fi ホットスポットのパスワードを変更できます。

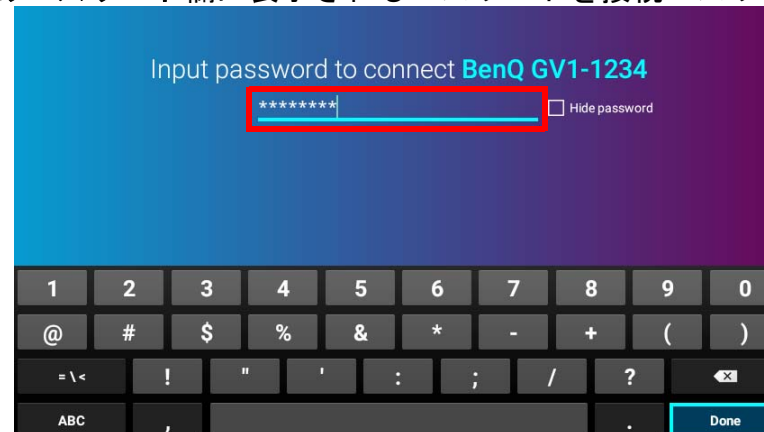


ホットスポットが無効に設定されているときには、ホットスポット名およびホットスポットのパスワードのみ変更できます。

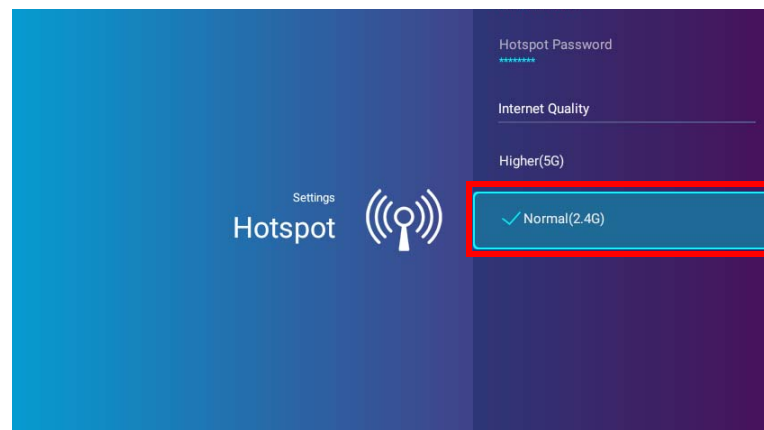
5. ホットスポットを選択し、OK を押して Wi-Fi ホットスポットを有効にします。



6. Wi-Fi ホットスポットを有効にしたら、ホットスポット名欄に表示される名前を SSID として使用してモバイルデバイスの Wi-Fi メニューから接続し、ホットスポットのパスワード欄に表示されるパスワードを接続パスワードとして使用することができます。



7. 使用するデバイスが Wi-Fi ホットスポットを検出できない場合は、インターネットの強度という見出しから標準 (2.4G) を選択してください。




Wi-Fi ホットスポットが設定できたら、前のセクションで説明した手順に従ってプロジェクタに直接接続し、映像を投写します。

有線接続

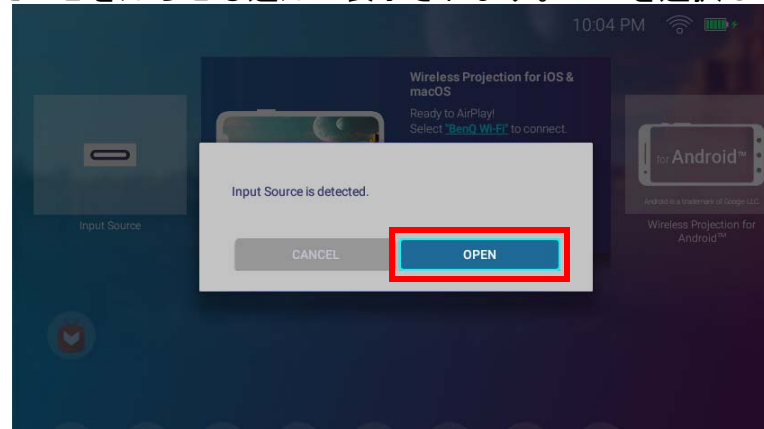
DisplayPort で USB-C™ デバイスを接続する

付属の USB-C™ ケーブル（または別の USB-C™ Gen3.1 ケーブル）を使用すると、DisplayPort 機能を備えたデバイスをプロジェクタに接続して動画や画像を投写することができます。

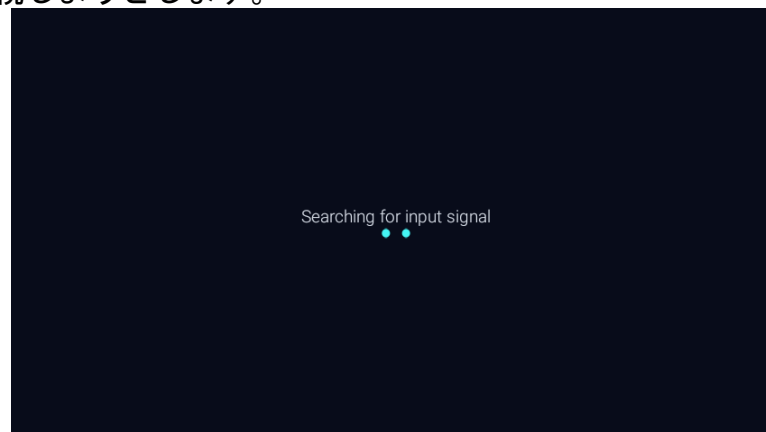
 USB-C™ ケーブルが付属するデバイスがすべて DisplayPort 機能を備えているわけではありません。デバイスの説明書をお読みください。

DisplayPort で USB-C™ デバイスを接続する：

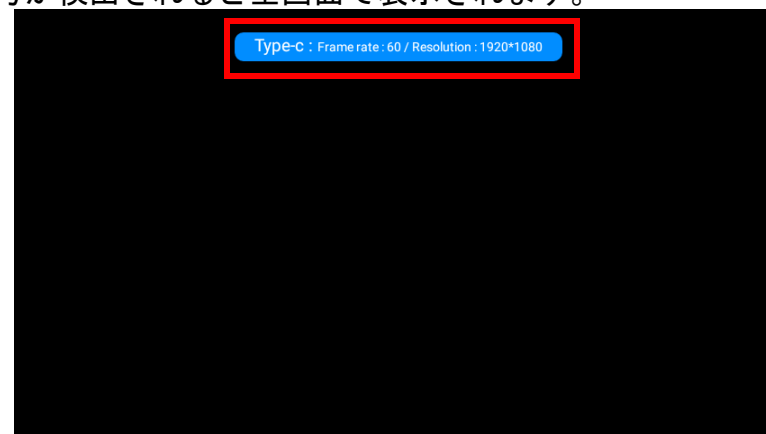
1. デバイスをプロジェクタの背面にある USB-C™ ポートに接続します。
2. デバイスがプロジェクタに接続されたことを知らせる通知が表示されます。**OK** を選択してデバイスに接続します。



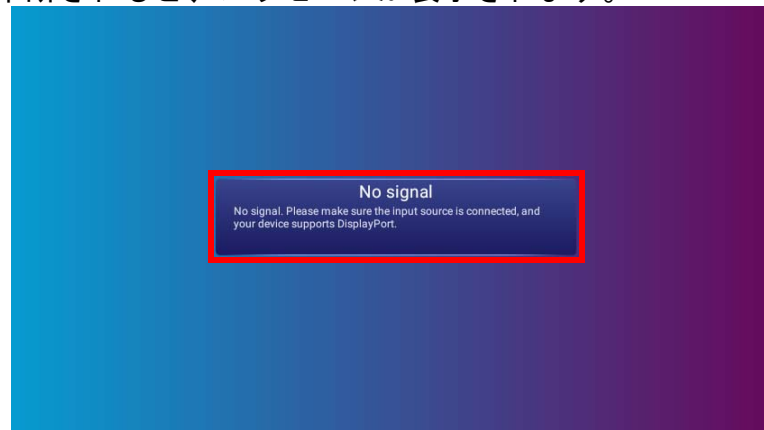
3. プロジェクタはデバイスの信号に接続しようとしています。



4. デバイスから出力される映像は、信号が検出されると全画面で表示されます。



5. 信号が検出されなかったり、信号が中断されると、メッセージが表示されます。



6. 投写を中止して以前表示されていたメニューに戻るには、**↵** を押します。**BenQ Launcher** ホーム画面に直接戻るには、**⏪** を押します。
7. デバイスを接続したままにしておき、再度信号を表示したい場合は、**BenQ Launcher** ホーム画面の入カソースボタンを押した後、**OK** を押します。デバイスを選択して **OK** を押します。

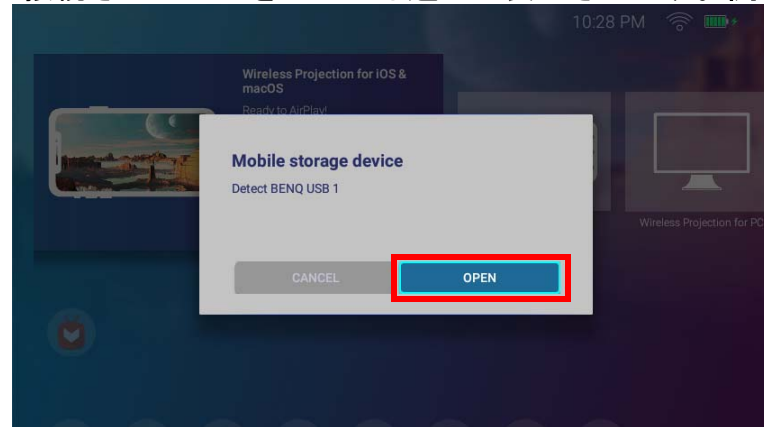
-
- USB-C™ デバイスをストレージデバイスとして使用し、動画、画像、音声を楽しむには、[67 ページの Media Player](#) を参照してください。
 - 多くのノートパソコンでは、プロジェクタを接続すると外付けビデオポートはオンになりません。通常 **Fn + F3** や CRT/LCD キーなどを使用すると、外部表示のオン/オフを切り替えることができます。ノートパソコン上で CRT/LCD と記された機能キーか、モニタの記号が表示された機能キーの位置を確認してください。**Fn** と記号が記された機能キーを同時に押します。ノートパソコンのキーの組み合わせについては、ノートパソコンの説明書をお読みください。
-

USB-C™ フラッシュドライブを接続する

USB-C™ フラッシュドライブをプロジェクタの背面にある USB ポートに接続すると、フラッシュドライブに保存されたメディアファイルを見ることができます。

USB-C™ フラッシュドライブを接続する：

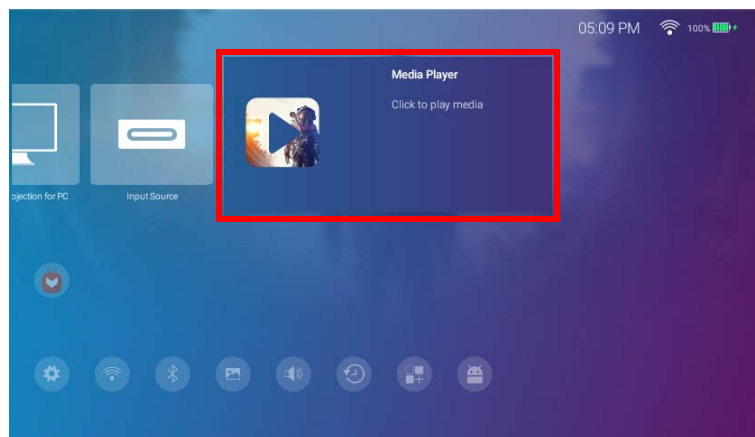
1. フラッシュドライブをプロジェクタの背面にある USB-C™ ポートに接続します。
2. ストレージデバイスがプロジェクタに接続されたことを知らせる通知が表示されます。**開く**を選択してデバイスを開きます。



3. メディアプレーヤーが自動的に起動します。メディアプレーヤーでファイルを表示するための詳細は、[67 ページの Media Player](#) を参照してください。

Media Player

BenQ Launcher インターフェイスのメディアプレーヤーを使用すると、USB-C™ フラッシュドライブか DisplayPort 機能を備えていないモバイルデバイスが接続されると、画像、動画、オーディオファイルにアクセスできます。このようなデバイスに接続して投写する方法については、[66 ページの USB-C™ フラッシュドライブを接続する](#)をお読みください。

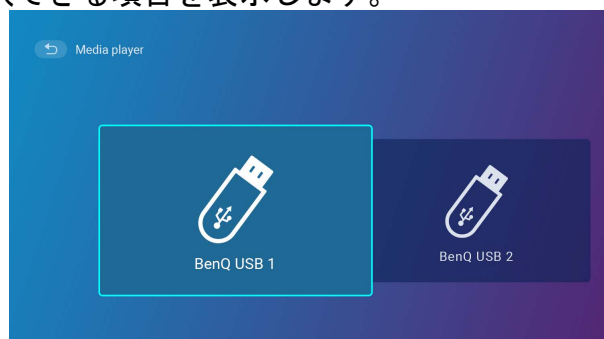


- プロジェクタにストレージデバイスが接続されると、デバイスを開くかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。**開く**を選択すると自動的に **メディアプレーヤー** にアクセスします。または、**キャンセル**を選択すると現在の画面に留まります。
- プロジェクタで投写できるファイル形式は、[106 ページの対応するファイル形式](#)を参照してください。

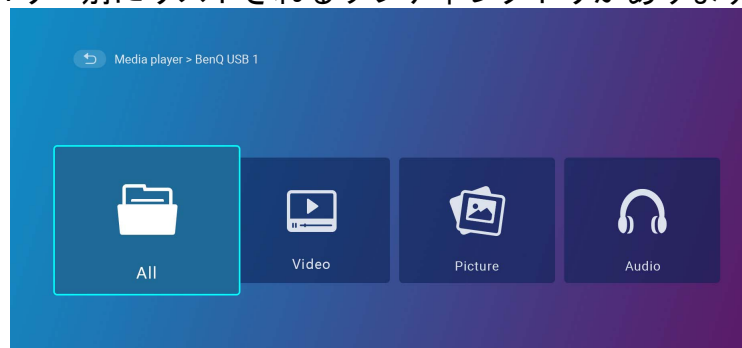
ナビゲーション


- リモコンの矢印キー (▲/▼/◀/▶) を使って選択したいファイルやアイコンを探します。
- **OK** を押してメニューまたはファイルを選択します。
- 以前表示されていたメニューに戻ったり、メディアファイルの再生を終了したりするには **⏪** を押します。

メディアプレーヤーは接続したデバイスで選択できる項目を表示します。



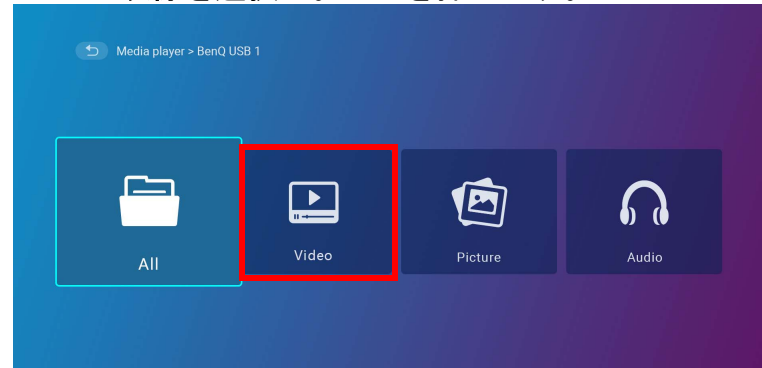
それぞれの選択肢には、ファイルがカテゴリ別にリストされるサブディレクトリがあります。すべて、映像、ピクチャ、音声です。



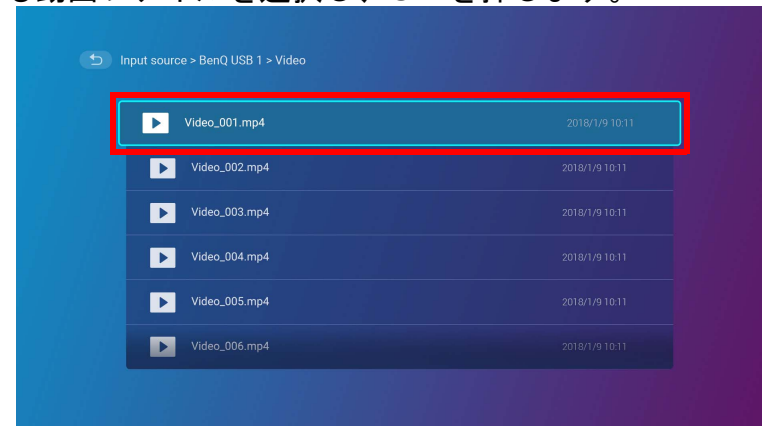
 接続したデバイスにサポートされるメディアファイルがない場合は、「使用不可」というメッセージが表示されます。



メディアプレーヤーで動画ファイルを再生する：

1. サブディレクトリの接続デバイスリストから**映像**を選択し。**OK** を押します。

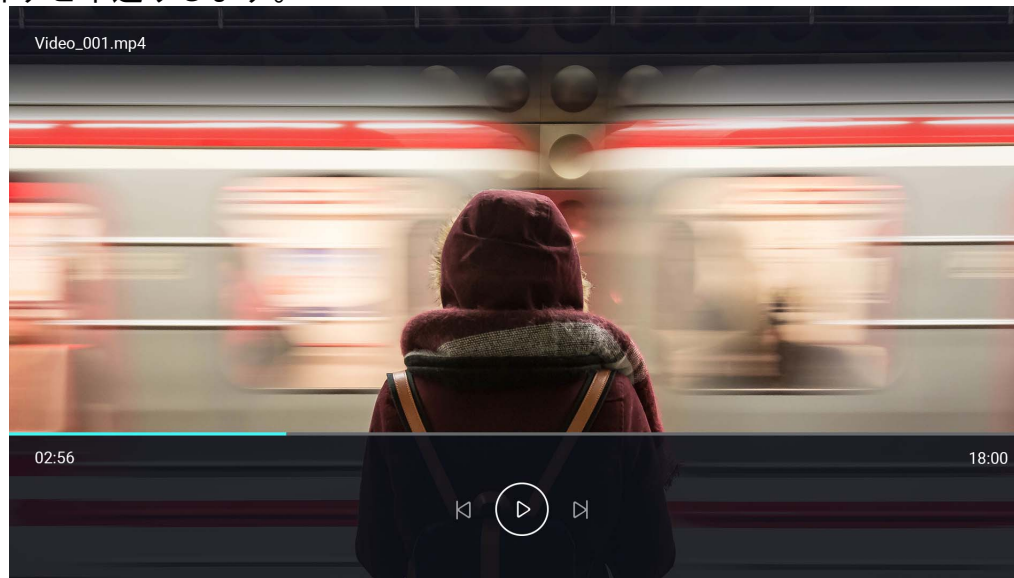


2. 上下矢印キー (▲/▼) を使って表示する動画ファイルを選択し、**OK** を押します。

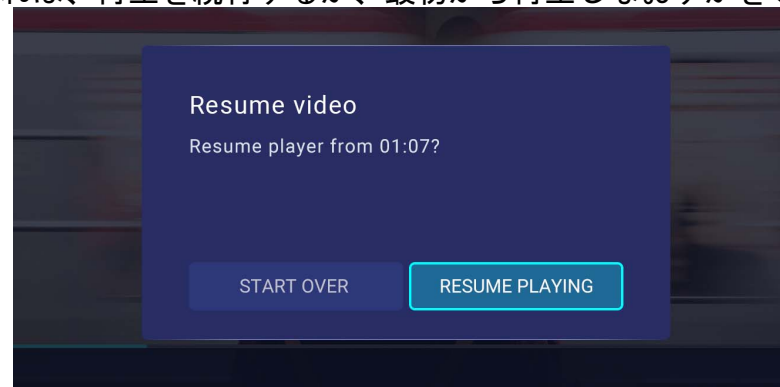


3. 動画ファイルの再生が開始されます。
4. 表示画面で次のオプションから選択できます。
 -  ボタンの **OK** キーを押すと動画が一時停止します。再度押すと再生が再開されます。
 -  ボタンの **OK** キーを押すと巻き戻されます。

- ▶ ボタンの **OK** キーを押すと早送りします。

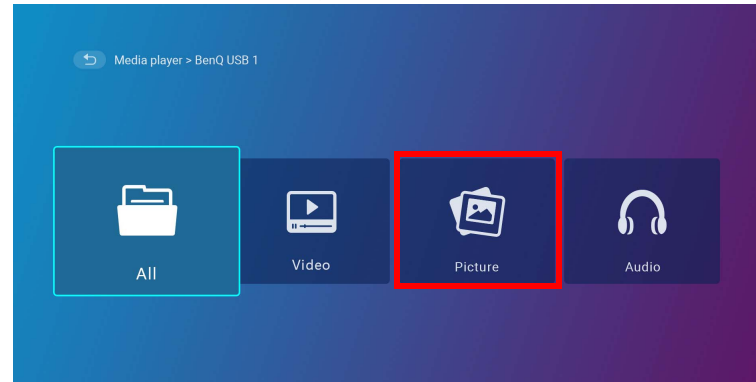


5. 以前動画ファイルを再生したのであれば、再生を続行するか、最初から再生しなおすかを尋ねられます。

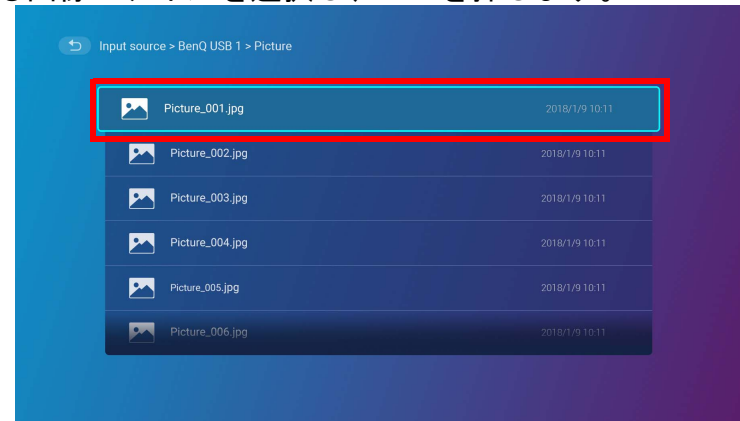




メディアプレーヤーで画像ファイルを再生する：

1. サブディレクトリの接続デバイスリストからピクチャを選択し、**OK** を押します。

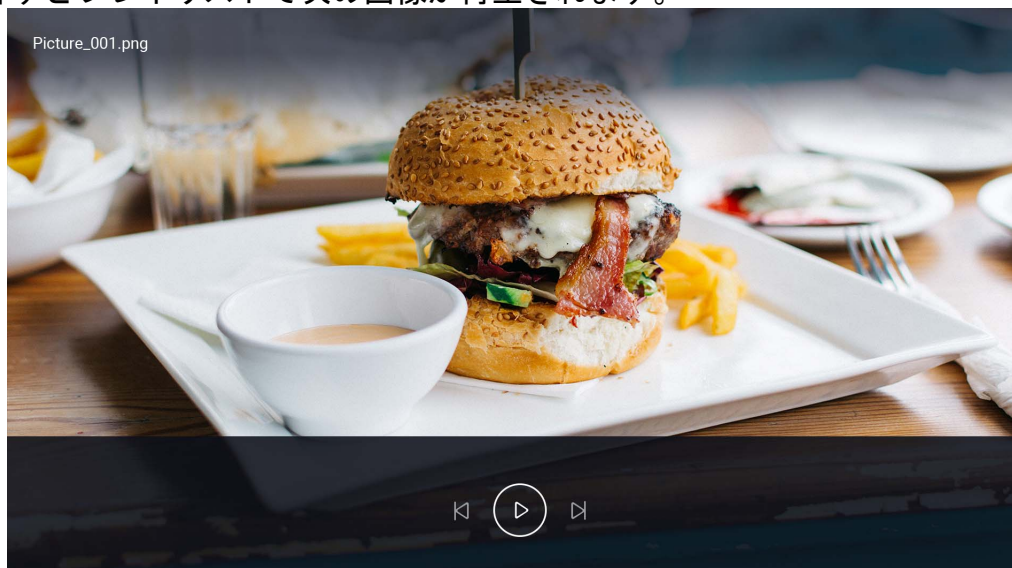


2. 上下矢印キー (▲/▼) を使って表示する画像ファイルを選択し、**OK** を押します。



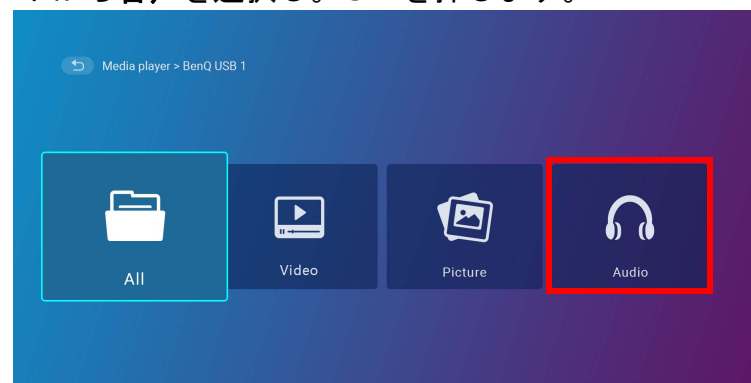
3. 画像ファイルが表示されます。
4. 表示画面で次のオプションから選択できます。
 -  ボタンの **OK** キーを押すとプレイリストの再生が中止されます。
 -  ボタンの **OK** キーを押すとプレイリストで前の画像が再生されます。

- ▶ ボタンの **OK** キーを押すとプレイリストで次の画像が再生されます。

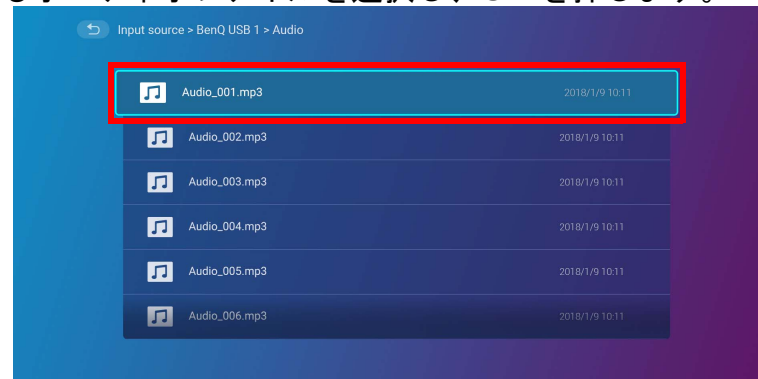


メディアプレーヤーでオーディオファイルを再生する：

1. サブディレクトリの接続デバイスリストから**音声**を選択し。**OK** を押します。












2. 上下矢印キー (▲/▼) を使って再生するオーディオファイルを選択し、**OK** を押します。

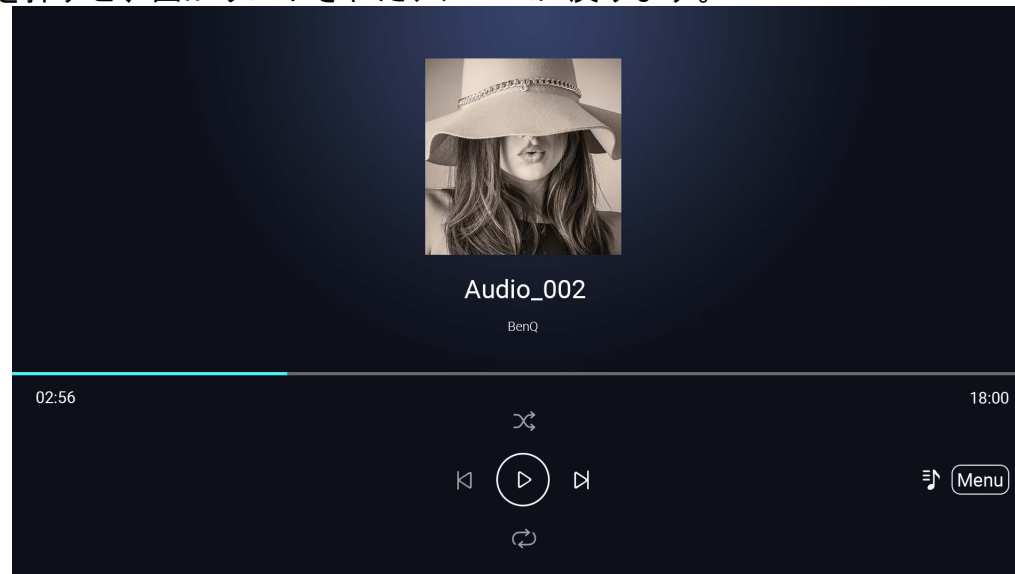





3. オーディオファイルの再生が開始されます。

4. 表示画面で次のオプションから選択できます。

-  ボタンの **OK** キーを押すとオーディオファイルの再生が開始または中止されます。
-  ボタンの **OK** キーを押すとプレイリストで前のオーディオファイルが再生されます。
-  ボタンの **OK** キーを押すとプレイリストで次のオーディオファイルが再生されます。
-  ボタンの左矢印キー (◀) を押したままにすると、オーディオトラックが巻き戻されます。
-  ボタンの右矢印キー (▶) を押したままにすると、オーディオトラックが早送りされます。
-  ボタンの **OK** キーを押すと、プレイリストのすべてのオーディオファイルがランダムに再生されます。再度 **OK** を押すとシャッフルモードがオフになります。
-  ボタンの **OK** キーを押すとプレイリストをループして繰り返し再生します。再度 **OK** キーを押すと現在のオーディオファイル  を繰り返し再生します。再度 **OK** を押すとリピートモードがオフになります。

-  ボタンの **OK** キーを押すと、曲がリストされたアルバムに戻ります。



-  画像スライドショーを再生しながら、背景でオーディオファイルを再生することができます。オーディオプレーヤーでオーディオファイルを再生しているとき、メディアプレーヤーメインメニューに戻り再生する画像ファイルを選択するには、 を選択します。
-  ボタンは曲がアルバムに整理されている場合にのみ機能します。すべての曲が1つのディレクトリにまとめられている場合は、何も機能しません。

Bluetooth 接続

プロジェクタは次のタイプの Bluetooth 接続に対応します：

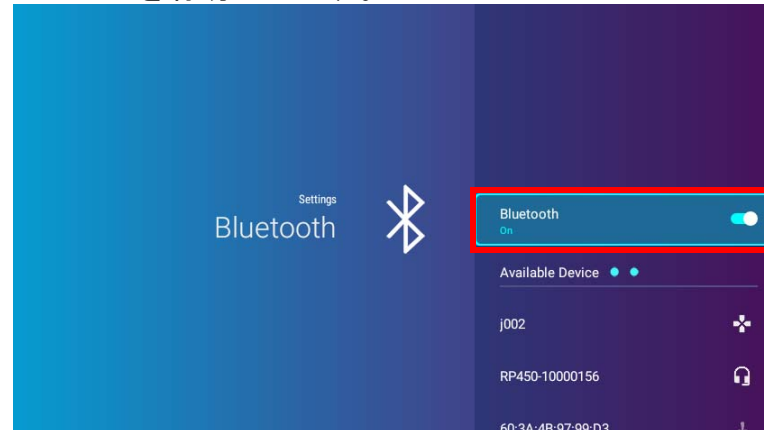
- Bluetooth が有効化されたスピーカーやヘッドフォンに接続して、屋外でも優れたサウンドを楽しむことができます。
- モバイルデバイスをプロジェクタに接続して、プロジェクタのスピーカーから音楽を再生することができます。

Bluetooth スピーカーまたはヘッドフォンとのペアリング / 接続

ペアリングとは、プロジェクタが初めて Bluetooth スピーカーやヘッドフォンへの接続を確立する手続きのことです。一旦両方のデバイスをペアリングしておくことで、それぞれのデバイスの内部メモリにペアリング情報が保存されますので、プロジェクタで Bluetooth が有効になり、各デバイスが 8 メートル以内の範囲にあると自動的に接続することができます。

プロジェクタを Bluetooth スピーカーまたはヘッドフォンとペア化する：

1. プロジェクタの電源を入れます。
2. リモコンの下向きキー ▼ を押して、設定メニューをナビゲートします。
3. **Bluetooth** を選択し、**OK** を押します。
4. **Bluetooth** を選択し、**OK** を押して Bluetooth を有効にします。



5. スピーカーまたはヘッドフォンの Bluetooth ペアリングモードを有効にします。

6. **Available Device**（使用可能な機器）リストからスピーカーまたはヘッドフォンを選択し、**Bluetooth** 設定メニューで **OK** を押しませす。



7. プロジェクタとスピーカーまたはヘッドフォンが接続されると、Bluetooth 設定メニューのデバイスリストに**接続済み**と表示されますので、プロジェクタからスピーカーかヘッドフォンに音声を出力できるようになります。


プロジェクタを一度 Bluetooth スピーカーとペアリングすると、両方のデバイスにペアリング情報が保存され、両方のデバイスで Bluetooth が有効になり、それぞれが通信範囲内にあると自動的に接続が確立されます。

Bluetooth 接続を切断する

プロジェクタからスピーカーまたはヘッドフォンの接続を解除して、別のスピーカーやヘッドフォンに接続するには、次の手順にしてください。

1. リモコンの下向きキー ▼ を押して、設定メニューをナビゲートします。
2. **Bluetooth** を選択し、**OK** を押しませす。
3. **Bluetooth** 設定メニューで **Available Device**（使用可能な機器）リストからすでに接続されたスピーカーまたはヘッドフォンを選択し、**OK** を押しませす。
4. プロジェクタからスピーカーまたはヘッドフォンの接続解除することを確定します。
5. 新しいスピーカーまたはヘッドフォンの Bluetooth ペアリングモードを有効にします。

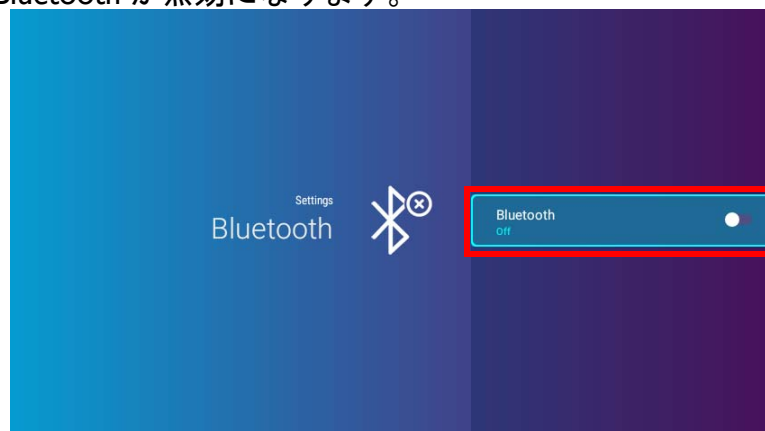
6. **Bluetooth** 設定メニューで **Available Device**（使用可能な機器）リストから新しいスピーカーまたはヘッドフォンを選択し、**OK** を押します。

 初回に Bluetooth デバイスリストにスピーカーまたはヘッドフォンがリストされない場合は、デバイスでペアリングモードが有効になっているかを確認し、Bluetooth 設定メニューで **デバイスをスキャン** を選択してスキャン処理を再起動してください。

Bluetooth スピーカーまたはヘッドフォンを無効にする

プロジェクトのオーディオを別のスピーカーやヘッドフォンに出力しないように Bluetooth を無効にするには：

1. リモコンの下向きキー ▼ を押して、設定メニューをナビゲートします。
2. **Bluetooth** を選択し、**OK** を押します。
3. **Bluetooth** を選択し、**OK** を押すと Bluetooth が無効になります。



プロジェクトを Bluetooth スピーカーとして使用する

モバイルデバイスをプロジェクトに接続し、プロジェクトを Bluetooth スピーカーとして使用するには：

1. プロジェクトのモード切替キー ⇄ を押すと、Bluetooth モードに切り替わったことを知らせる画面が表示されます。
2. プロジェクトのプロジェクト ランプがオフになり、モード切替 LED インジケータが青く点滅します。
3. モバイルデバイスで Bluetooth を有効にします。
4. モバイルデバイスで使用可能なデバイスリストから BenQ GVI デバイスの名前を選択します。

5. モバイルデバイスがプロジェクタとペア化され、接続されると、プロジェクタから接続音が聞こえます。また、モード切替 LED インジケータが青く点灯します。

モバイルデバイスを一度プロジェクタとペアリングすると、両方のデバイスにペアリング情報が保存され、両方のデバイスで Bluetooth が有効になり、それぞれが通信範囲内にあると自動的に接続が確立されます。

Bluetooth 接続を切断する

プロジェクタからモバイルデバイスを接続解除するには、次のいずれかの方法で行います：

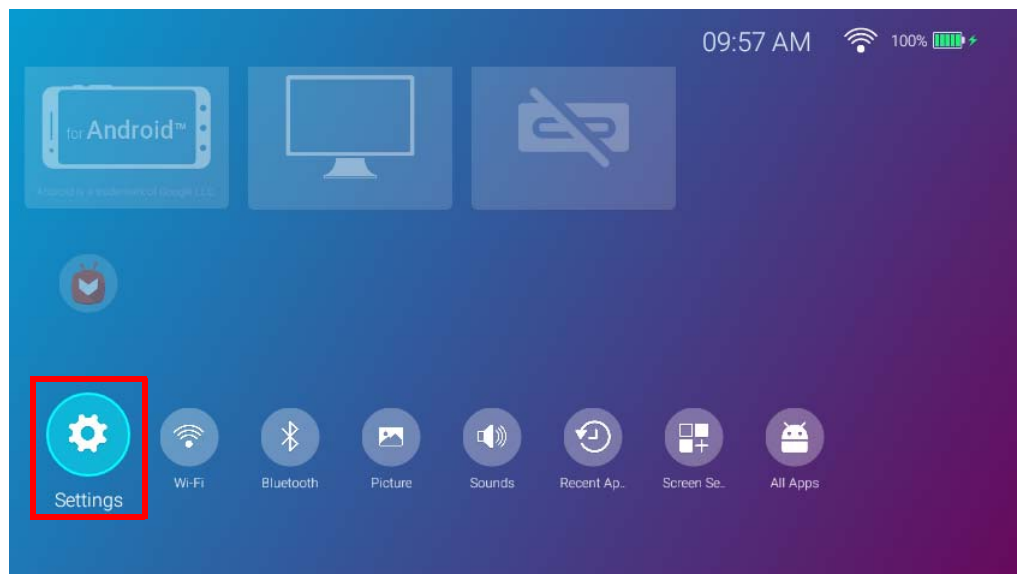
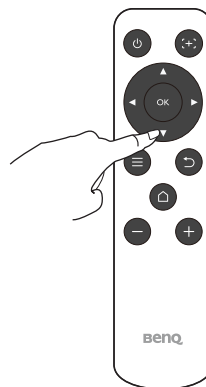
- モバイルデバイスの Bluetooth メニューでプロジェクタから接続解除する。
- プロジェクタのモード切替キー ⇨ を押して、プロジェクタとプロジェクタモードに戻す。

設定メニューをナビゲートする

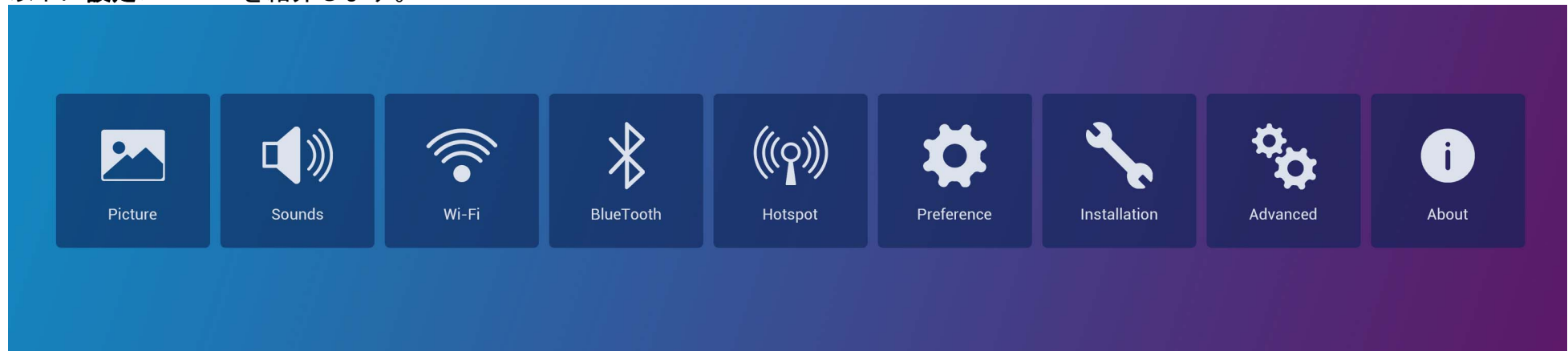
設定メニューについて

プロジェクタ、無線接続、投写画像で調整をしたり、設定したりするために、**BenQ Launcher**には**設定メニュー**があります。設定メニューの中には各種設定を行うメニューがあります。

設定メニューにアクセスするには、**BenQ Launcher** ホームページでリモコンの下向きボタン ▼ を押し、**設定**を選択します。



以下に設定メニューを紹介します。




設定メニューの使用法

各種設定メニューにアクセスする：

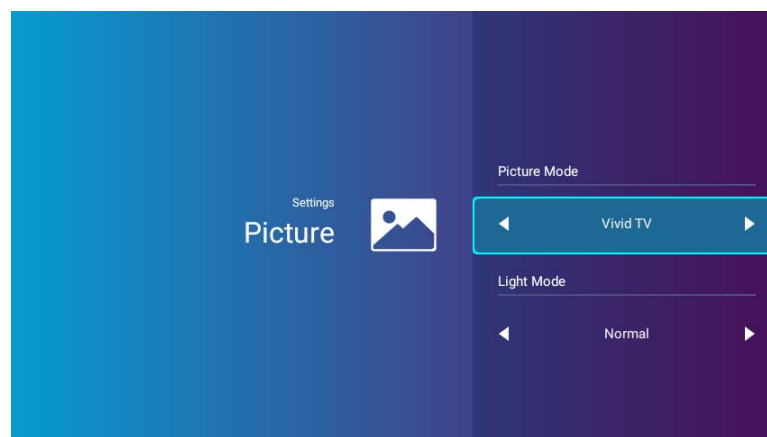
- 左右矢印キー (◀/▶) を使って、メインの設定メニューを移動します。
- **OK** を使ってメニューを選択します。

メニューで項目を構成する：

- 構成したい項目を移動するには、上下矢印キー (▲/▼) を使用します。
- オプションを移動するには、左右矢印キー (◀/▶) を使用します。
- オプションを有効 / 無効にしたり、サブメニュー オプションを選択するには、**OK** を使用します。
- メインの設定メニューに戻るには、戻るボタン ◀ を使用します。
- **BenQ Launcher** ホームページに戻るには、ホームボタン ◻ を使用します。

 ファームウェアが最新版でない場合は、バージョン情報アイコンに赤い点が表示されます。この場合は、バージョン情報メニューでシステムの更新 > 更新を選択してファームウェアの更新を行ってください。ファームウェアが最新版に更新されると赤い点は消えます。詳細は、[93 ページのシステムの更新](#)を参照してください。

ピクチャ

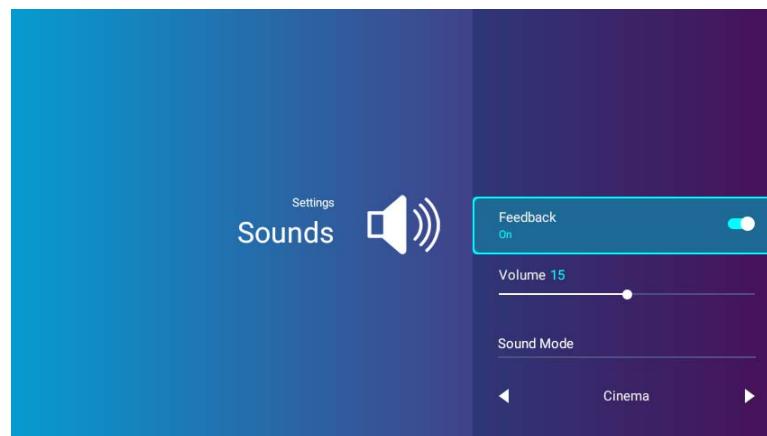


次の表は、ピクチャメニューで選択可能なアイテムについてまとめたものです。

項目	オプションと説明	
ピクチャモード	操作環境に最も合ったプリセットのピクチャモードと、入力信号の画像タイプを選択します。プリセットのピクチャモードの説明は以下のとおりです。	
	明るく	画像の輝度を最大限明るくします。このモードは、輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています（プロジェクタを明るい部屋で使用する場合など）。
	プレゼンテーション	プレゼンテーションに向いています。このモードでは PC の色に合わせて輝度が強調されます。
	ビビッド TV	シネマモードよりも若干明るいので、照明が暗めの室内に適しています。
	シネマ	彩度とコントラストが最適なバランスであり、明度が低い、全くの暗室（映画館など）でムービーを楽しむのに適しています。
	スポーツ	このモードは、照明が暗い部屋でスポーツゲームを観戦するのに適しています。例：リビングなど。

項目	オプションと説明	
ライトモード	プロジェクタのランプの電源モードを切り替えます。	
	ノーマル	ランプを完全に明るくします。
	エコモード	システムノイズと電力消費量を 30% 低減することができます。エコモードモードを有効にすると、供給されるライトの電力が低減され、その結果投写画像が暗くなります。
	バッテリーモード	<p>システムノイズと電力消費量を低減して 3 時間投写を行います*。バッテリーモードを有効にすると、供給されるライトの電力が低減され、その結果投写画像が暗くなります。</p> <p>*3 時間投写は次のように設定されています：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ライトモード：バッテリーモード • ピクチャモード：ビビッド TV モード • 音量：50%、GVI の再生 • Bluetooth：オン、他のデバイスに接続なし • Wi-Fi：オン、接続済み

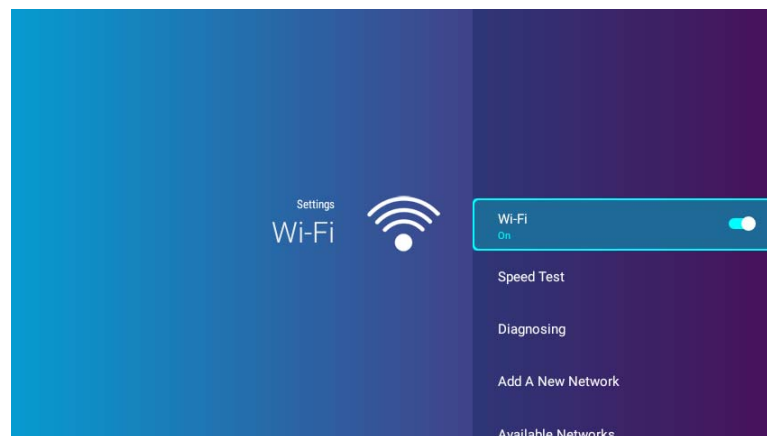
サウンド




次の表は、サウンドメニューで選択可能なアイテムについてまとめたものです。

項目	オプションと説明
フィードバック	プロジェクタが出力するオーディオについてのフィードバックを有効 / 無効にします。
音量	プロジェクタのサウンドレベルを調整します。
サウンドモード	低音と高音の効果がすばらしいウェーブのアルゴリズムが組み込まれたサウンド エンハンス技術を採用しています。臨場感あふれるシネマ体験をお楽しみください。プリセットのサウンド モードには次のようなものがあります：標準、シネマ、音楽、ゲーム、スポーツ。

Wi-Fi



次の表は、**Wi-Fi** メニューで選択可能なアイテムについてまとめたものです。

項目	オプションと説明
Wi-Fi	プロジェクトの Wi-Fi を有効にします。詳細は、 50 ページの Wi-Fi ネットワークを介してプロジェクトを接続する を参照してください。
速度テスト	プロジェクトのインターネット接続速度をテストします。
診断	プロジェクトのインターネット接続状態を診断します。
新しいネットワークを追加	SSID リストに隠されていたり、未検出の特定のネットワークを追加できます。選択すると、ネットワークの SSID およびセキュリティ設定を入力するよう要求されます。
SSID リスト	プロジェクトが接続できる有効な Wi-Fi アクセスポイントがリストされます。詳細は、 50 ページの Wi-Fi ネットワークを介してプロジェクトを接続する を参照してください。  SSID リストは、 Wi-Fi が有効になっている場合にのみ使用できます。

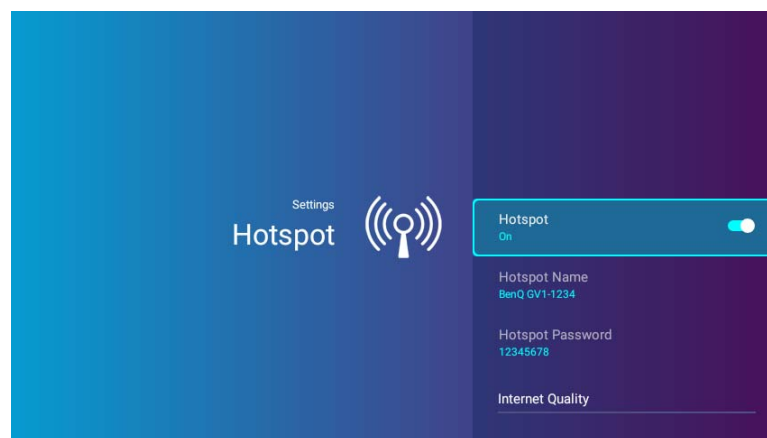
Bluetooth






次の表は、**Bluetooth** メニューで選択可能なアイテムについてまとめたものです。

項目	オプションと説明
Bluetooth	プロジェクタのオーディオを Bluetooth スピーカーやヘッドフォンに出力するように Bluetooth を有効にします。
Available Device (使用可能な機器)	プロジェクタとペア化して接続できる Bluetooth デバイスがリストされます。デバイスリストを更新するには、 デバイスをスキャン を選択します。  Available Device (使用可能な機器) は、 Bluetooth が有効になっている場合にのみ使用できます。

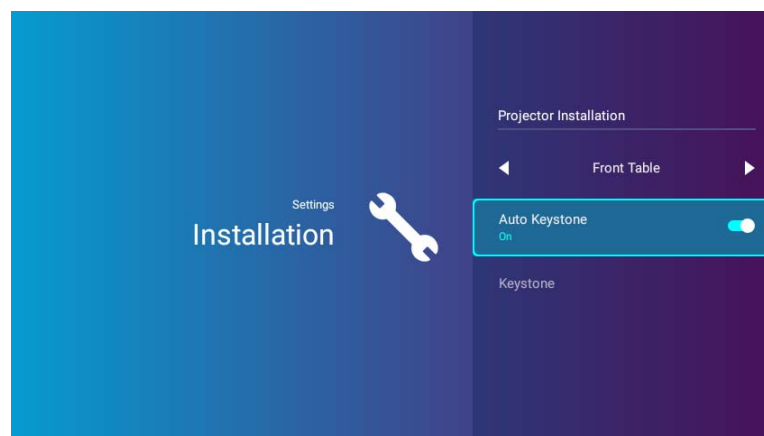
ホットスポット




次の表は、ホットスポットメニューで選択可能なアイテムについてまとめたものです。

項目	オプションと説明
ホットスポット	他のデバイスがプロジェクタに直接接続できるように、プロジェクタの Wi-Fi ホットスポットを有効にします。詳細は、 59 ページの Wi-Fi ホットスポット を参照してください。
ホットスポット名	プロジェクタの Wi-Fi ホットスポットの名前を設定します。これは、デバイスが直接プロジェクタに接続するために検出するもので、Wi-Fi リストに表示されます。  プロジェクタの Wi-Fi ホットスポットのデフォルト名は、「 BenQ PRJ GVI 」です。
ホットスポットのパスワード	プロジェクタの Wi-Fi ホットスポットのパスワードを設定します。  パスワードは 8 文字で設定してください。
インターネットの強度	プロジェクタの Wi-Fi ホットスポット信号の周波数を設定します。オプションには 2.4G と 5G があります。  デフォルトの周波数は 5G に設定されています。一部のモバイルデバイスは 5G を介して接続できないものがあります。このような場合には、 インターネットの強度 を 2.4G にしてください。

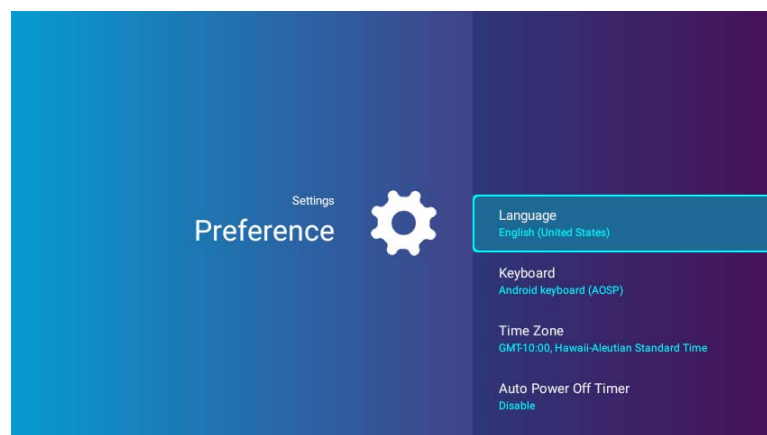
インストール




次の表は、インストールメニューで選択可能なアイテムについてまとめたものです。

項目	オプションと説明	
プロジェクトの設置	このプロジェクタは、高い位置やスクリーンの背後にも設置できます。詳細は、 29 ページの設置場所の選択 を参照してください。	
	前面投写	プロジェクタをスクリーンの正面に床面近くに設置します。
	天井前面投写	プロジェクタをスクリーン正面の天井近くに昇降させます。
	リア投写	プロジェクタをスクリーン背面、床面近くに設置します。
オートキーストーン	プロジェクタの電源がオンのとき、自動的に台形補正設定を調整します。詳細は、 42 ページの台形の補正 を参照してください。	
キーストーン	投写画像の台形補正設定を調整します。詳細は、 42 ページの台形の補正 を参照してください。  この機能はオートキーストーンがオフのときにしか使用できません。	

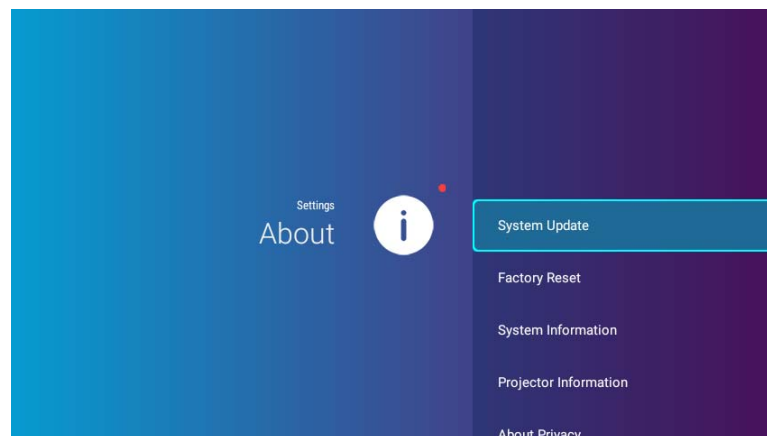
設定




次の表は、設定メニューで選択可能なアイテムについてまとめたものです。


項目	オプションと説明
言語	BenQ Launcher の言語を設定します。
キーボード	テキスト入力に使用できる仮想キーボードを設定。  中国語を入力するために、言語環境を繁体字または簡体字に設定してキーボードを BenQ キーボード に設定。
タイムゾーン	プロジェクタのタイムゾーンを設定します。
オート電源オフタイマー	プロジェクタが無作動状態のとき自動的に電源が切れる間隔を設定します。 次のオート電源オフタイマー選択肢があります： 無効、5 分、10 分、15 分、20 分、25 分、30 分。
LED インジケータ	LED 警告ライトはオフにできます。これは暗い部屋で画像を見るときにライトが邪魔にならないための配慮です。

バージョン情報



次の表は、バージョン情報メニューで選択可能なアイテムについてまとめたものです。

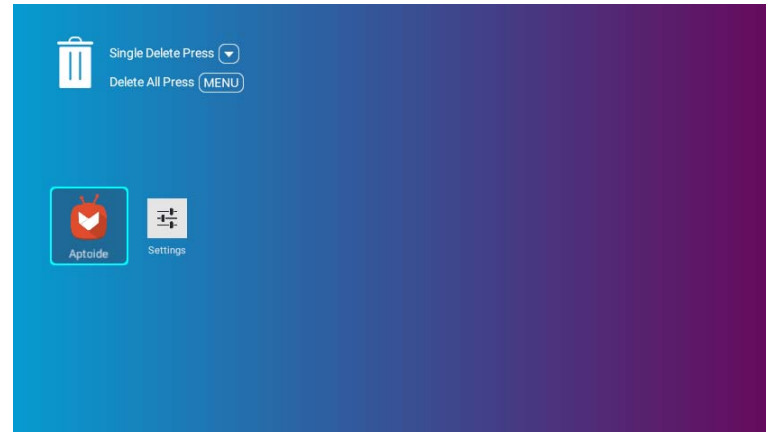
項目	オプションと説明
システムの更新	ファームウェアのバージョンとソフトウェアの更新方法が表示されます。更新を選択すると、Wi-Fi でソフトウェアが更新されます。  USB のアップデートは補修用ですので、選択しないでください。
初期値に戻す	すべての設定を工場出荷時の値に戻します。
システム情報	モデル名、オペレーティングシステムのバージョン、メモリ、ストレージ容量、シリアル番号、MAC アドレスなど、プロジェクトのハードウェア / ソフトウェア情報が表示されます。
プロジェクトの情報	現在のピクチャモード、ライトモード、検出された解像度、ネイティブ解像度、ファームウェアバージョンなど、プロジェクトの状態が表示されます。
プライバシーについて	BenQ プライバシーステートメントが表示されます。

 バージョン情報アイコンの右上に表示される赤い点は、ファームウェアの最新版があることを意味します。このような点が表示されたら、システムの更新 > 更新を選択してファームウェアの更新を行ってください。ファームウェアが最新版に更新されると赤い点は消えます。詳細は、93 ページのシステムの更新を参照してください。

その他の設定メニュー

フロントページの設定メニューからは、その他の設定メニューを選択できます。

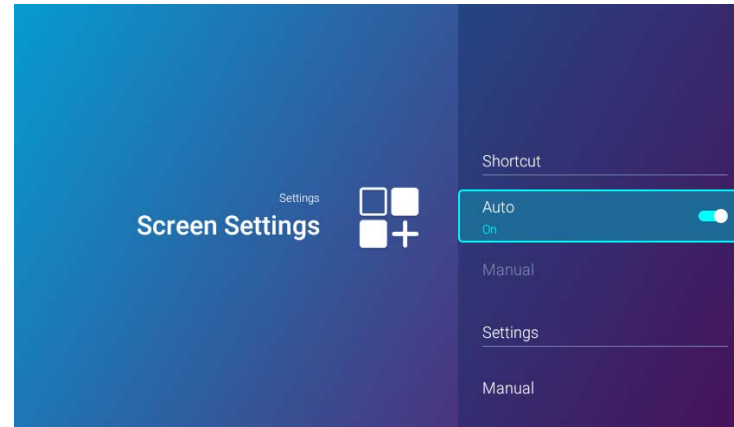
最近使ったアプリ




最近使用したアプリリストを見るには、**最近使ったアプリメニュー**を選択します。

- アイコンを選択してリモコンの下向きボタン (▼) を押すと、最近使用したアプリリストからアイコンが削除されます。
- アイコンを選択してリモコンのメニューボタン (≡) を押すと、最近使用したアプリリストからすべてのアイコンが削除されます。

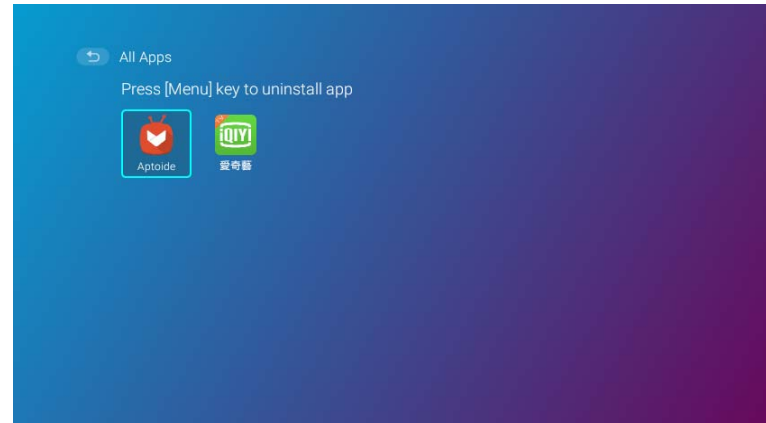
スクリーン設定



次の表は、スクリーン設定メニューで選択可能なアイテムについてまとめたものです。

項目	オプションと説明	
ショートカット		フロントページに表示するアプリのショートカットと、 BenQ Launcher その順番を設定します。フロントページには1個以上のショートカットを表示する必要があり、最大10個まで表示できます。
	自動	フロントページにはアプリのショートカットが自動的に順番に並べられますので、最後に使用したアプリが最初の行に表示されます。  Aptoide 自動モードでの最初のショートカットは、デフォルトで設定されています。 Aptoide 以降の他のショートカットは、使用した順番に表示されます。
	手動	フロントページに表示するアプリのショートカットと、その順番を手動で変更できます。ショートカットを表示または非表示にするには、 OK を押します。最初に選択したアプリが最初の行に表示されます。
設定		BenQ Launcher フロントページに表示する設定メニューのショートカットとその順番を設定します。フロントページには1個以上のショートカットを表示する必要があり、最大8個まで表示できます。
	手動	フロントページに表示する設定メニューのショートカットと、その順番を手動で変更できます。ショートカットを表示または非表示にするには、 OK を押します。最初に選択した設定メニューが最初の列に表示されます。

すべてのアプリ



プロジェクトにインストールされているすべてのアプリを見るには、**すべてのアプリメニュー**を選択します。

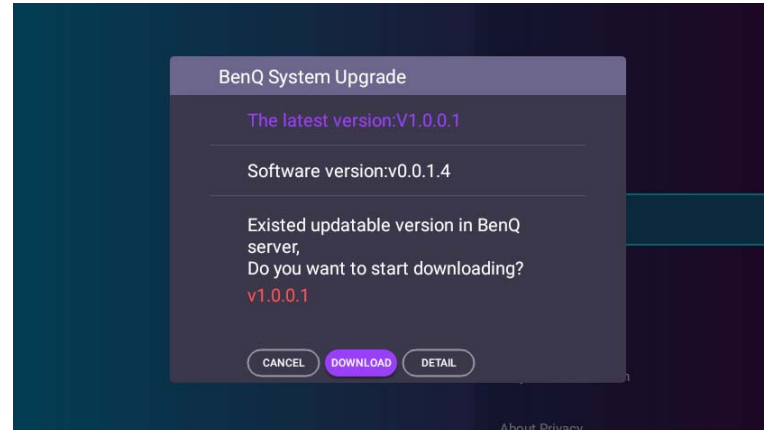
- アプリを選択して、リモコンの **OK** を押すとアプリが起動します。
- アプリを選択して、リモコンのメニューボタン (≡) を押すとアプリがアンインストールされます。

システムの更新

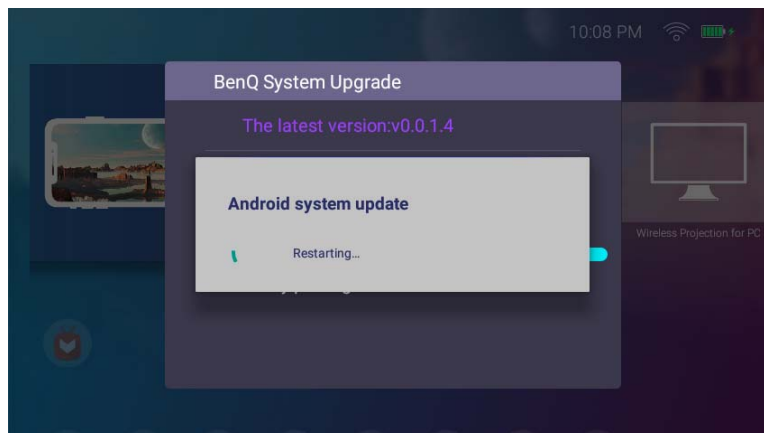
プロジェクタを常に最高の状態でお使いいただくために、ファームウェアは定期的に最新版にアップデートするようお勧めします。このプロジェクタは、Over-the-Air (OTA) アップデート方式を使用してアップデートファイルをワイヤレスでインストールします。


BenQ OTA サーバーに最新版が保管されると、プロジェクタが Wi-Fi ネットワークに接続したときにメッセージが表示されます。次の手順に基づいてファームウェアの更新を開始してください。

1. アップデートファイルをダウンロードするには、**ダウンロード**を選択します。

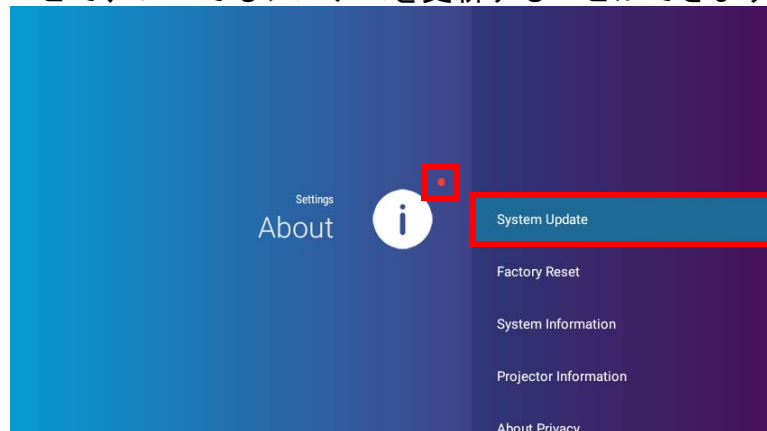


2. ダウンロードが完了したら、プロジェクタが自動的に再起動します。プロジェクタが更新を完了して **BenQ Launcher** が再度スクリーンに表示されるまでは、電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしないでください。



 OTA アップデートを完了できるように、バッテリーを最低でも 60% 以上維持してください（バッテリーのステータスアイコンで 3 本分）。

システムアップグレードのメッセージが表示されたときにキャンセルを選択すると、設定 > バージョン情報メニューの右上に赤い点が表示されます。これは、BenQ OTA サーバー上に最新のファームウェアがあることを知らせています。設定 > バージョン情報メニューのシステムの更新 > 更新機能を使用することで、いつでもシステムを更新することができます。



メンテナンス

プロジェクタのお手入れ

ご使用のプロジェクタはほとんどメンテナンスの必要がありません。レンズを清潔に保つために、定期的なレンズのお手入れだけが必要です。


プロジェクタのパーツは絶対に取り外さないでください。プロジェクタが正常に作動しなくなった場合は、販売店かサポートセンターへお問い合わせください。

レンズのクリーニング

表面に汚れやほこりが付いていたら、レンズのお手入れが必要です。

プロジェクタのパーツをお手入れされる前に、正しい手順でシャットダウンして電源を切り（詳細は、[39 ページのプロジェクタをシャットダウンする](#)を参照してください）、電源ケーブルを抜いてください。その後、完全に冷却させてください。

- 圧縮空気スプレーを使ってほこりを取り除いてください。
- 汚れやしみが付いた場合は、レンズクリーニングペーパーまたはレンズクリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。
- 研磨用パッド、アルカリ性 / 酸性クレンザー、研磨剤入りパウダー、揮発性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤）などは一切ご使用にならないでください。ゴムやビニール部分にこのような素材を使用したり、長期間これらを接触したままの状態にしておくと、プロジェクタの表面やキャビネットの素材を傷つける場合があります。

 レンズは絶対に指で触れたり、研磨剤を使用したり、こすったりしないでください。ペーパータオルでもレンズのコーティングがはがれる場合があります。適切なカメラレンズブラシ、布、クリーニング液だけを使用するようにしてください。プロジェクタがオンのとき、またはまだ熱を持っているときにレンズのクリーニングを行わないでください。

プロジェクタの保管

長期間プロジェクタを保管する場合：

- 保管場所の温度と湿度が、プロジェクタの推奨範囲内であることを確認します。詳細は、仕様を参照されるか、販売店にお尋ねください。

- 調整脚をおさめます。
- リモコンからバッテリーを取り外します。
- プロジェクタを元の梱包または同等の梱包にしまします。

プロジェクタの移動

プロジェクタを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。

LED 寿命を延長する

投写 LED は従来の電球よりも光源寿命が長い 200AL LED 電球ですが、消耗品です。ランプの寿命をできるだけ長く維持するには、設定メニューで次の設定を変更してください。

設定メニューにアクセスする手順については、[80 ページの設定メニューの使用法](#)を参照してください。

LED モードの設定

プロジェクタをエコモードに設定してランプの寿命を延長する。

LED モード	説明
ノーマル	ランプを 100% 輝度にします
エコモード	システムノイズと電力消費量を 30% 低減することができます。エコモードモードを有効にすると、供給されるライトの電力が低減され、その結果投写画像が暗くなります。
バッテリーモード	システムノイズと電力消費量を低減して 3 時間投写を行います*。バッテリーモードを選択すると、供給されるライトの電力が低減され、その結果投写画像が暗くなります。 *3 時間投写は次のように設定されています： • ライトモード：バッテリーモード • ピクチャモード：ビビッド TV モード • 音量：50%、GVI の再生 • Bluetooth：オン、他のデバイスに接続なし • Wi-Fi：オン、接続済み

1. 設定 > ピクチャ > ライトモードを選択します。
2. (◀/▶) を押して任意のモードに移動します。
3. 完了したら、⏻ を押して変更内容を保存し、終了します。

設定自動パワーオフ

指定した時間を経過しても操作が検出されないときに、自動的にプロジェクタの電源をオフにします。

1. 設定 > 設定 > オート電源オフタイマーを選択し、OK を押します。
2. (▲/▼) を押して時間を選択します。プリセット時間の長さがプレゼンテーションに合わない場合は、無効を選択すると、プロジェクタは自動的にシャットダウンしません。
3. 完了したら、⏻ を押して変更内容を保存し、終了します。

トラブルシューティング

問題	原因	対応
プロジェクタの電源がオンにならない。	電源コードから電源が来ていません。	電源コードをプロジェクタの電源コードソケットとコンセントに差し込みます。コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっているかを確認してください。
	電池残量が少なく低電圧になっている。	電源アダプタを接続して LED インジケータが緑色に点滅するまで充電し、プロジェクタの電源キーを 3 秒間押すとオンになります。
プロジェクタから電源アダプタを外すとプロジェクタが自動的にシャットダウンし、電源を入れることができなくなります。	ダメージにより光学エンジンを投写するには、バッテリー残量が 30% 以下になった状態で電源アダプタを外すとプロジェクタは自動的にシャットダウンします。	電源アダプタを接続して LED インジケータが緑色に点滅するまで充電し、再度プロジェクタの電源キーを押してください。
Google Play がありません。	Aptoide は Google Play の代わりに、アプリをダウンロードするために提供されています。	フロントページで Aptoide アイコンを選択してアプリマーケットにアクセスし、コンテンツをストリーミングできるようにアプリをダウンロードしてください。
このプロジェクタでは USB-C™ を使って携帯電話やラップトップコンピュータのスクリーンを投写ことはできません。	携帯電話やラップトップコンピュータには DisplayPort 機能はありません。	デバイスの USB-C™ ポートが DisplayPort 機能に対応しているか (DisplayPort IC が内蔵)、DisplayPort のバージョンが 1.1 以上であるか、またタイミングが 105 ページのタイミングチャート にリストされているかを確認してください。
	USB-C™ ケーブルは互換性がありません。	メディアデータの転送には、USB-C™ Gen 3.1 ケーブルをお使いください。


問題	原因	対応
このプロジェクタには Bluetooth スピーカーやヘッドフォンを接続することはできません。	Bluetooth 機能が有効になっていません。	Bluetooth 機器とプロジェクタの両方で Bluetooth 機能が有効になっていることを確認してください。詳細は、 75 ページの Bluetooth スピーカーまたはヘッドフォンとのペアリング / 接続 を参照してください。
	Bluetooth 機器とプロジェクタが 8 メートル以上離れています。	
プロジェクタは、USB-A ポートに接続されたストレージデバイスに保管されているファイルを再生することはできません。	ストレージデバイスが正しくプロジェクタに接続されていません。	このプロジェクタには USB-C™ ポートが 1 個あり、USB-A ポートはありません。プロジェクタと USB-A ポートに接続した機器を接続するには、正規の USB-A・USB-C™ 変換アダプタをお使いください。詳細は、 67 ページの Media Player を参照してください。
	このプロジェクタはファイル形式には対応しません。	プロジェクタが対応するファイル形式については、 106 ページの対応するファイル形式 をお読みください。
HDMI 出力によるファイルを再生することはできません。	このプロジェクタには USB-C™ DisplayPort 入力ポートが 1 個しかありません。	HDMI・USB-C™ DisplayPort 変換アダプタは市販されていません。したがって、有線でプロジェクタと接続するには、DisplayPort 機能を使ってデバイスからファイルを再生するようお勧めします。
スクリーンの明るさが暗くなります。	アダプタが外れています。	ランプの輝度が 3 時間投写に対応するために、バッテリーモードに下げられています。スクリーンを明るくしたい場合は、電源アダプタをプロジェクタに接続するか、ライトモードをバッテリーモード以外のモードに変更してください。
	アダプタは外れていませんが、ライトモードがバッテリーモードに切り替わっています。	

問題	原因	対応
入力源がない。	ビデオ ソースがオンになっていないか、正しく接続されていません。	ビデオ ソースをオンにし、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
	プロジェクタが正しく入力ソースデバイスに接続されていません。	接続を確認します。 ご使用になるデバイスが DisplayPort に対応しており、USB-C™ Gen 3.1 ケーブルで接続されているか確認してください。
	プロジェクタがそのビデオファイルまたはオーディオファイルのフォーマットに対応していません。	106 ページの対応するファイル形式 に掲載されるファイルフォーマットが再生されるか確認してください。再生されない場合は、お客様サービスにお問合せください。
画像とオーディオが安定しない。	接続ケーブルがプロジェクタまたは信号ソースにしっかりと接続されていません。	ケーブルを適切な端末に正しく接続します。
	インターネット帯域が制限されているか、混雑している。	別の Wi-Fi AP に接続するか、速度の速いチャンネルに接続してください。
	プロジェクタが Bluetooth の接続範囲外にあります。	プロジェクタが Bluetooth の接続範囲内にあるようにしてください。 2.4G ネットワークを使用するときには、できるだけ無線干渉が少なくなるようにしてください。
イメージがぼやける。	投写レンズの焦点が合っていません。	フォーカスリングで焦点を合わせてください。
	プロジェクタとスクリーンの位置が正しく合っていません。	投写角度および方向、また必要であればプロジェクタの高さを調整します。
リモコンが機能しない。	バッテリーが切れています。	新しいバッテリーに交換します。
	リモコンとプロジェクタの間に障害物があります。	障害物を取り除いてください。
	プロジェクタからの距離が遠すぎます。	プロジェクタから 8 メートル (26.2 フィート) 以内の場所に立ちます。

問題	原因	対応
<p>プロジェクタが任意の SSID を検出できません。</p>	<p>ルーターの無線周波数が圏外です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 2.4G 周波数の場合は、ルーターの SSID がチャンネル 1 から 11 に設定されているか確認してください。 • 5G 周波数（および C SKU）の場合は、ルーターの SSID がチャンネル 36、40、44、48、149、153、157、161 のいずれかに設定されているか確認してください。 • 5G 周波数 (E SKU) の場合は、ルーターの SSID がチャンネル 36、40、44、48 のいずれかに設定されているか確認してください。
<p>プロジェクタが任意の SSID に接続できません。</p>	<p>プロジェクタとルーターのハンドシェイクが IEEE 802.11 プロトコルに従っていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 2.4G 周波数の場合は、ルーターの Wi-Fi モードが 802.11g/n または 802.11n に構成されていることを確認してください。 • 5G 周波数の場合は、ルーターの Wi-Fi モードが 802.11n に構成されていることを確認してください。

仕様

プロジェクタの仕様

 仕様はすべて予告なしに変更されることがあります。

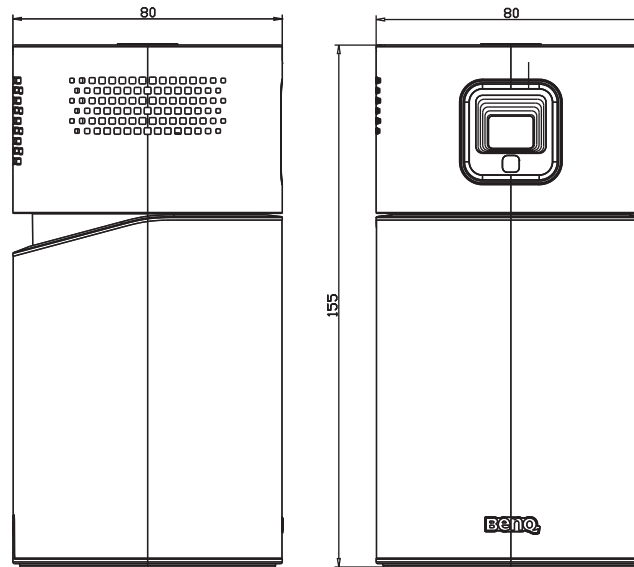
GVI プロジェクタ仕様	
投写システム	DLP
ネイティブ解像度	WVGA (854 x 480)
明るさ	200AL
コントラスト比 (FOFO)	100,000:1
レンズ	F=1.5、f=5.53 mm
投写率	1.3 (35"@1M)
SoC	Qualcomm Snapdragon 210 MSM8909
OS	Android 7.1.2
RAM	1G LPDDR3
フラッシュ	8G EMMC

GVI プロジェクタ仕様

WLAN	IEEE 802.11 a/b/g/n、2.4 G/5G	
2.4 G	A および C SKU	Ch1-Ch11
	E SKU	
5G	A および C SKU	Band1 : Ch36、Ch40、Ch44、Ch48
		Band4 : Ch149、Ch153、Ch157、Ch161、Ch165
	E SKU	Band1 : Ch36、Ch40、Ch44、Ch48
インターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> • DC in x 1 • USB-C™ (DP Alt モード、データ) x 1 	
外形寸法	80 x 155 x 80 mm	
重量	708g	
稼働温度	0°C - 40°C	
作業高度	0 m - 2000 m	
電源	DC 供給	
	周波数	AC 100 - 240 V、50/60 Hz 0.8A
	定格電力	12.0V 2.0A 24.0W
	バッテリー寿命	
	タイプ	リチウムイオン ポリマー
	電気規格	7.4V 3000.0mAh 22.2W
	バッテリー サイクル寿命	300 回
	充電時間	0% 状態から 100% 充電まで 3 時間
	バッテリー寿命	バッテリーモードで 3 時間

外形寸法

80 mm x 80 mm x 155 mm (幅 x 奥 x 高)




タイミングチャート

サポートされるビデオ入力のタイミング

タイミング	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (KHz)	ドットクロック周波数 (MHz)
480p	720 x 480	31.47	59.94	27
576p	720 x 576	31.25	50	27
720/50p	1280 x 720	37.5	50	74.25
720/60p	1280 x 720	45.00	60	74.25
1080/24P	1920 x 1080	27	24	74.25
1080/25P	1920 x 1080	28.13	25	74.25
1080/30P	1920 x 1080	33.75	30	74.25


サポートされる PC 入力のタイミング

解像度	モード	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ドットクロック周波数 (MHz)
640 x 480	VGA_60	59.940	31.469	25.175
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40.000
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65.000
1280 x 720	1280 x 720_60	60	45.000	74.250
1280 x 960	1280 x 960_60	60.000	60.000	108

 上記のタイミングは、EDID ファイルと VGA グラフィック カードの制限により、サポートされない場合があります。一部のタイミングを選択できない場合もあります。

対応するファイル形式

ファイルタイプ	ファイルの拡張子
ドキュメント	.txt
画像	JPG (.jpg、.jpeg)、PNG(.png)、BMP(.bmp)
音楽	MP3(.mp3)、AAC(.aac)
ビデオ	XVID(.avi) MPEG-4 (3gp、mp4) H.263 (3g2、.avi、.mkv、.webm、3gp、mp4)
サブタイトル	該当なし

 ビットレート範囲：ビデオファイルのピークのビットレートが 10 MB 以上の場合、再生ラグが生じることがあります。